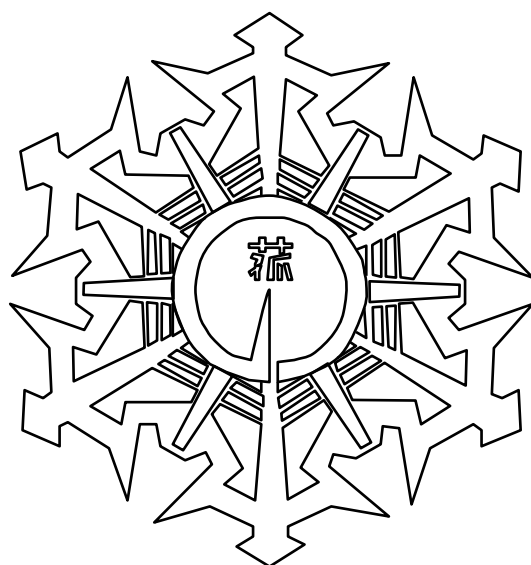


消防年報



三重県
菰野町消防本部
(令和2年版)

はじめに

本書は、菰野町における消防情勢と消防諸般の状況を記録し、将来の消防行政運営上の指針とするために編集しました。

統計資料は特に記載のあるものを除き、令和元年中をもって表しました。

なお、平成31年1月1日から令和元年12月31日を令和元年としています。

令和2年8月

三重県 こも の ちょう 菰野町消防本部

目 次

消 防 情 勢

菰野町の概要、位置図	1
菰野消防のあゆみ	2
歴代消防長	5
令和元年中の主な行事	6
消防本部、消防署の組織、機構及び事務分掌	7
消防予算	8
一般会計予算に占める消防費の割合	
消防費に対する人口、世帯当り額	
消防力の整備指針と現有消防力の比較	9
職員階級別、所属別配置状況	10
職員階級別勤続年数状況	
職員階級別年齢状況	11
消防本部（署）庁舎の概要	12
現有消防車両	
通信施設状況	13
消防水利状況	14
各種研修実施状況	
外部研修等派遣状況	15
応急手当普及啓発活動実施状況	16
自主防災組織	17
緊急避難所	18
風水害時における緊急避難所を補完する施設	19
収容避難所	
収容避難所を補完する施設	20

消 防 団

菰野町消防団の沿革	21
歴代消防団長（合併以降）	
消防団の機構、団員数	22
年齢別、階級別消防団員数	23
在職年数別消防団員数	
消防団員報酬	
消防団員各種手当	
消防団員職業別構成表	24
消防団消防車両配置状況	

予 防

防火対象物現況	25
用途別建築同意状況	26
工事別建築同意状況	27
過去 5 年間の建築同意状況	
危険物施設現況	28
危険物施設許可認可状況	
各種届出処理状況	29
消防用設備等設置検査実施状況	
広報、啓発活動状況	30

火 災

火災発生状況	31
過去 5 年間の火災発生状況	
地区別火災発生状況	32
月別火災発生状況	
曜日別火災発生状況	
時間別火災発生状況	33
火災出動状況	
火災出動区分詳細	
火災発生状況及び出火原因状況	34
絵で見る火災原因	36

救 急、救 助

救急事故発生状況	37
過去5年間の救急事故発生状況	
事故種別、救急出動件数・搬送人員	38
現場到着所要時間別救急件数	
収容所要時間別救急搬送人員	
年齢区分別救急搬送人員	39
傷病程度別救急搬送人員	
時間別救急出動件数	
地区別救急出動状況	40
月別救急出動状況	
曜日別救急出動状況	
年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員	41
事故種別、年齢区分別救急搬送人員	
事故種別、傷病程度別救急搬送人員	
事故種別、時間別救急出動件数	42
事故種別、応急処置件数	
事故種別、医療機関別救急搬送人員	43
救助出動状況	44
事故種別、救助出動件数・救助人員	50
事故種別、救助出動人員	
事故種別、救助出動車両	

気 象、通 信、その他

月別気象状況と火災件数	51
月別気温概況	52
月別降水量概況	
月別湿度概況	53
月別風速概況	
気象通報受信状況	54
三重北消防指令センター119番通報受付取扱状況	55
菰野町消防本部管内月別119番通報受付取扱状況	
菰野町消防本部管内回線別119番通報受付取扱状況	
災害件数の推移	56

消防情勢



平成 31 年 3 月 17 日の新名神高速自動車国道の開通に備え、高速道路上での大規模災害発生時における連携体制を強化するため、近隣の消防本部と合同訓練を実施しました。

三重県内高速道路消防連絡協議会総合消防訓練
平成 31 年 3 月 1 日
於：新名神高速道路上（菰野 IC 付近）

菰野町の概要、位置図

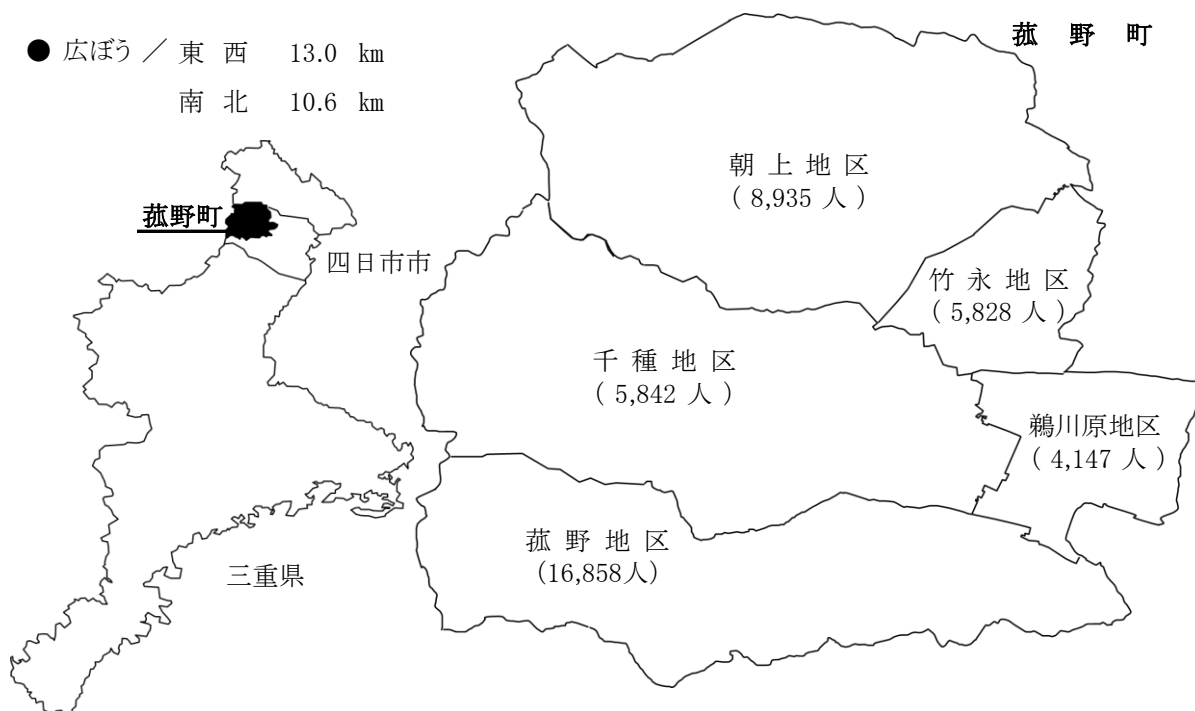
菰野町は、三重県の北西部に位置し、西は鈴鹿山脈を境に滋賀県と接し、北はいなべ市に、東と南は四日市市に隣接している。

町の約3分の1を占める山岳地帯は、鈴鹿国定公園に指定されており、御在所岳、釈迦ヶ岳、鎌ヶ岳などは、多くのアルピニストに親しまれ、近年では登山ブームにより老若男女を問わず、人気を集めるスポットである。

さらに霊山幽谷に出で湯を持つ湯の山温泉や雄大な眺めとスリルに富んだ御在所ロープウェイ、景勝を織りなす溪谷の数々、緑豊かな丘陵地など、菰野町は鈴鹿国定公園の玄関口としてふさわしい。

菰野町では、目指すべき将来像を「自然の中に人々が集う、笑顔と活力のまち 菰野」をスローガンに掲げ、町民の安全安心への思いや、絆を大切にしながら、自然との調和を基盤とした町づくりを推進している。

- 位置 / 北緯 35° 01' 43" (世界測地) ● 人口 / 41,610 人
東経 136° 30' 25" (令和2.3.31現在)
- 面積 / 107.28 km² ● 世帯数 / 16,666 世帯
(令和2.3.31現在)
- 海拔 / 御在所岳 1,212 m (最高地)
役場(本庁舎) 77.1 m
- 広ぼう / 東西 13.0 km
南北 10.6 km



菰野消防のあゆみ

昭和58年(1983)

- 9. 30 町議会に常備消防特別委員会設置。

昭和59年(1984)

- 3. 5 自治省消防庁より昭和59年度における消防本部及び消防署義務設置町村政令指定（内定）を受ける。
- 7. 19 消防庁舎建設工事着工。
- 8. 24 日本消防協会より救急車（2 B型）の寄贈を受ける。
- 10. 21 役場庁舎において救急業務開始。（総務課消防防災係16名）

昭和60年(1985)

- 1. 31 消防庁舎完成。（コミュニティ防災センターを併設）
- 2. 14 消防庁舎において試行業務開始。
- ※ 4. 1 **菰野町消防本部・消防署発足。**
消防本部に消防課、予防課を置き、消防署に警防課を置く。
定数31名 車両5台
- 4. 2 消防庁舎竣工式及び開署式。

昭和61年(1986)

- 3. 25 ポンプ車（CD-I型）購入。
- 11. 19 普通貨物自動車購入。

昭和62年(1987)

- 2. 26 はしご車（30m級）購入。
- 10. 14 （社）日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受ける。
- 10. 28 広報車購入。

昭和63年(1988)

- 4. 12 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 21 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞。
- 8. 19 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞。

平成元年(1989)

- 1. 24 救急車（2 B型）購入。
- 4. 18 菰野ライオンズクラブより広報車の寄贈を受ける。

平成2年(1990)

- 8. 2 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞。
- 8. 24 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞。

平成4年(1992)

- 4. 10 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 23 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成5年(1993)

- 12. 24 訓練塔敷地造成工事開始。

平成6年(1994)

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数33名）
- 4. 8 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 27 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成7年(1995)

- 2. 16 水槽付ポンプ車（水－I A型）購入。
- 3. 18 訓練塔竣工式。
- 12. 22 消毒室完成。

平成8年(1996)

- 3. 18 （社）日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受ける。
- 4. 22 緊急消防援助隊旗の伝達を受ける。
- 12. 13 指令車購入。
- 12. 20 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数40名）

平成9年(1997)

- 4. 1 菰野町防災行政無線による広報を開始。
- 5. 15 救急救命士が誕生。

平成10年(1998)

- 2. 4 ポンプ車（CD－I型）購入。
- 4. 1 救急救命士業務の運用を開始。
- 10. 15 携帯電話による119番通報受信業務を開始。
- 11. 24 積載車購入。

平成11年(1999)

- 1. 21 広報車購入。
- 6. 2 救急救命士24時間体制開始。
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞。
- 8. 19 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）に出場。

平成12年(2000)

- 4. 14 三重県消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成13年(2001)

- 3. 7 高規格救急車購入。
- 3. 10 新通信指令室の運用を開始。

平成14年(2002)

- 4. 1 消防吏員服制規則改正。

平成15年(2003)

- 8. 27 全国優良消防職員表彰受賞。
- 12. 6 救急医療功労者知事表彰受賞。

平成16年(2004)

- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣。（3年間）
- 9. 3～4 三重県緊急消防援助隊野営訓練及び合同訓練を菰野町で実施。

平成17年(2005)

- 8. 3 救急救命士1名が気管内挿管講習及び実習修了。
- 8. 8 携帯119番直接受信開始。
- 10. 1 三重県内消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結。

平成18年(2006)

- 2. 22 高規格救急車購入。
- 4. 1 緊急消防援助隊登録。
- 7. 13 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了。

平成19年(2007)

- 1. 30 水槽付ポンプ車（水-I A型）購入。
- 7. 25 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞。
- 8. 22 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞。

平成20年(2008)

- 3. 9 救急救命士3名が薬剤投与追加講習及び実習修了。
- 3. 14 救助工作車（II型）購入。
- 4. 11 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 17 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 8. 28 全国優良消防職員表彰受賞。
- 12. 12 査察車購入。

平成21年(2009)

- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣。（3年間）
- 6. 25 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了。
- 8. 1 Eメール119番通報の運用開始。
- 11. 30 耐震性貯水槽第1号が完成。

平成22年(2010)

- 4. 9 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 16 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 12. 2 高規格救急車購入。

平成23年(2011)

- 4. 27 火災時における消防活動業務の協力に関する協定を締結。

平成24年(2012)

- 4. 1 菟野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数46名）
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣。（3年間）
- 4. 13 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 8. 1 位置情報通知システム（統合型）導入。
- 12. 27 広報車購入。

平成25年(2013)

- 8. 21 全国優良消防職員表彰受賞。
- 11. 18 救急医療功労者知事表彰受賞。

平成26年(2014)

- 3. 24 はしご車（先端屈折式 30m級）購入。
- 12. 5 ポンプ車（CD-I型CAFS付）購入。

平成27年(2015)

- 1. 31 資機材搬送車購入。
- 4. 1 救命サポート事業開始。
- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数58名）
- 8. 26 消防支援隊発足。（35名）
- 11. 26 高規格救急車購入。

平成28年(2016)

- 4. 1 三重北消防指令センター運用開始。
- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣。（3年間）
- 7. 26 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞。
- 8. 24 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞。

平成29年(2017)

- 3. 8 消防庁長官表彰永年勤続功労章受章。
- 11. 28 高規格救急車購入。

平成30年(2018)

- 3. 7 消防庁長官表彰功労章受章。
- 6. 1 三重北消防指令センターにて多言語三者間同時通訳システムの運用開始。

令和元年(2019)

- 1. 31 三重県内高速道路等における消防相互応援協定を締結。
- 8. 24 全国優良消防職員表彰受賞。
- 10. 1 三重北消防指令センターにてNet119緊急通報システムの運用開始。

歴代消防長

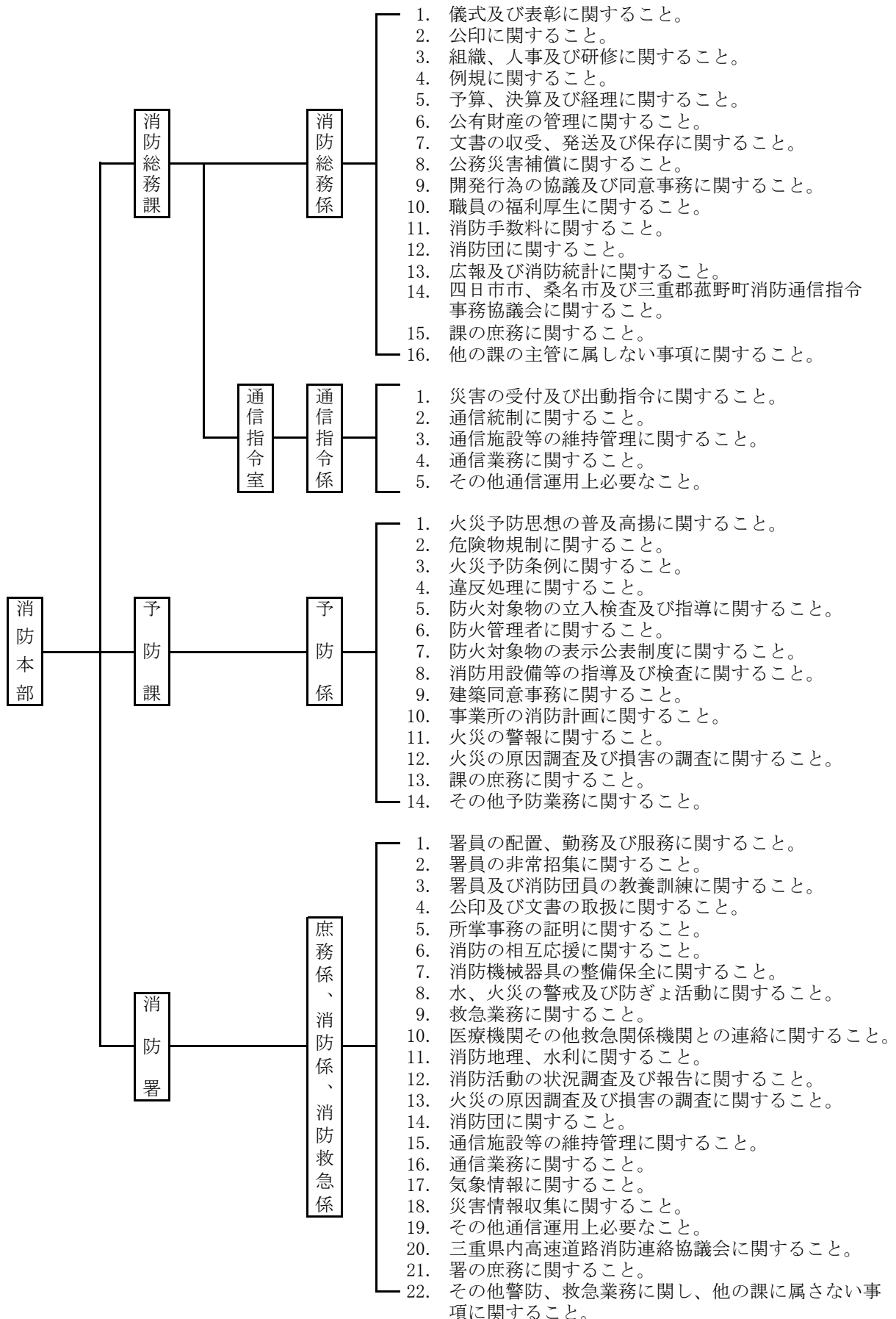
初代	大倉 二郎	自	昭和60年 4月 1日	至	昭和61年 3月31日
二代	田邊 正男	自	昭和61年 4月 1日	至	平成 3年 3月31日
三代	藤田 徹	自	平成 3年 4月 1日	至	平成 7年 3月31日
四代	石原 俊秀	自	平成 7年 4月 1日	至	平成11年 3月31日
五代	内田 芳隆	自	平成11年 4月 1日	至	平成13年 3月31日
六代	金津 正義	自	平成13年 4月 1日	至	平成16年 3月31日
七代	秦 隆	自	平成16年 4月 1日	至	平成18年 4月27日
八代	増田 幸生	自	平成18年 5月 1日	至	平成19年 3月31日
九代	川嶋 正典	自	平成19年 4月 1日	至	平成21年 3月31日
十代	内田 眞伸	自	平成21年 4月 1日	至	平成25年 3月31日
十一代	白木 康裕	自	平成25年 4月 1日	至	平成30年 3月31日
十二代	吉川 澄	自	平成30年 4月 1日		現在に至る

令和元年中の主な行事

- | | |
|---------------|------------------------------------|
| 1. 13 | 消防出初式 |
| 1. 23 | 文化財防火運動に伴う特別消防訓練〔井手神社〕 |
| 2. 24 | 防火広報〔町内一円〕 |
| 2. 26 | 春の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔真菰福祉サービスセンター〕 |
| 3. 1～3. 7 | 春の火災予防運動 |
| 4. 14 | 消防辞令交付式〔農村センター体育館〕 |
| 5. 17 | 菰野町防火協会理事会総会〔千種地区コミュニティセンター〕 |
| 5. 26 | 菰野町水防訓練〔菰野町役場庁舎南 三滝川河川敷〕 |
| 6. 2～6. 8 | 危険物安全週間 |
| 6. 4 | 危険物安全週間に伴う特別消防訓練〔大和ハウス工業株式会社 三重工場〕 |
| 6. 30 | 菰野町消防団夏期訓練〔菰野町役場北駐車場〕 |
| 8. 30～9. 5 | 防災週間 |
| 9. 1 | 菰野町民総ぐるみ総合防災訓練〔町内一円〕 |
| 9. 4 | 防災週間に伴う特別消防訓練〔国民宿舎湯の山ロッジ〕 |
| 9. 8～9. 14 | 救急医療週間 |
| 10. 15 | 集団救急救護訓練〔消防本部〕 |
| 10. 18 | 三重県消防職員警防技術交換会〔三重県消防学校〕 |
| 11. 9～11. 15 | 秋の火災予防運動 |
| 11. 10 | 秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔株式会社デンソートリム〕 |
| 12. 28～12. 31 | 年末特別警戒〔町内一円〕 |

消防本部、消防署の組織、機構及び事務分掌

令和 2. 4. 1現在



消防予算(当初額)

(千円)

年度 \ 区分	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費	合計
平成28年度	470,568	39,298	47,989	50	747,012
平成29年度	491,685	43,527	57,285	50	592,547
平成30年度	500,483	42,052	16,768	50	559,353
令和元年度	498,958	40,829	88,139	50	627,976
令和2年度	536,732	40,864	77,013	50	654,659

一般会計予算に占める消防費の割合(当初額)

年度 \ 区分	一般会計予算 (千円)	消防予算 (千円)	比率(%)
平成28年度	13,860,000	557,905	4.0
平成29年度	13,220,000	592,547	4.5
平成30年度	12,810,000	559,353	4.4
令和元年度	12,870,000	627,976	4.9
令和2年度	13,460,000	654,659	4.9

消防費に対する人口、世帯当り額

年度 \ 区分	人口(人)	世帯(戸)	消防費(千円)	人口1人当りの 消防費(千円)	1世帯当りの消防 費(千円)
平成28年度	41,540	15,828	557,905	13	35
平成29年度	41,803	16,089	592,547	14	37
平成30年度	41,820	16,284	559,353	13	34
令和元年度	41,738	16,461	627,976	15	38
令和2年度	41,610	16,666	654,659	16	39

消防力の整備指針と現有消防力の比較

(台)

車 両	消防力の整備指針による基準車両	基準数	現 有 車 両	現有数	比 較
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	0
	は し ご 付 き 消 防 自 動 車	1	は し ご 付 き 消 防 自 動 車	1	0
	化 学 消 防 自 動 車	1		0	△ 1
	救 急 自 動 車	3	高 規 格 救 急 自 動 車 (1) 高 規 格 救 急 自 動 車 (2) 高 規 格 救 急 自 動 車 (3)	3	0
	救 助 工 作 車	1	救 助 工 作 車	1	0
	指 揮 車	1	指 揮 車	1	0
	計	9	計	8	△ 1

(人)

人 員	消防力の整備指針による区分別算定		基準数	現有数	比 較	
	警 防 要 員	消 防 ポ ン プ 自 動 車 (1)	5人×3部制=15人	60	40	△ 20
		消 防 ポ ン プ 自 動 車 (2)	4人×3部制=12人			
		救 助 工 作 車	5人×3部制=15人			
		救 急 自 動 車 (1)	3人×3部制= 9人			
		指 揮 車	3人×3部制= 9人			
		救 急 自 動 車 (2) 救 急 自 動 車 (3)	(兼 務 運 用)			
		は し ご 付 き 消 防 自 動 車	(乗 換 運 用)			
		化 学 消 防 自 動 車【未配備】				
	通 信 員		3	3	0	
予 防 要 員		5	5	0		
そ の 他 の 人 員		5	8	3		
合 計			73	56	△ 17	

令和 2. 4. 1現在

職員階級別、所属別配置状況

令和 2. 4. 1現在

所属 \ 階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
消防長・消防総務課	1	3	3		1	3	11
予防課		1	1	3			5
消防署		4	16	4	5	11	40
合計	1	8	20	7	6	14	56

職員階級別勤続年数状況

令和 2. 4. 1現在

勤続年数 \ 階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
1年未満						3	3
1年							
2年						5	5
3年						2	2
4年		1				2	3
5年					1	1	2
6年					1		1
7年				1	1	1	3
8年							
9年					1		1
10年							
11年					1		1
12年				1			1
13年					1		1
14年				1			1
15年							
16年			1	1			2
17年							
18年			1				1
19年		1	1	1			3
20年							
21年			2				2
22年			2				2
23年			3				3
24年							
25年							
26年			5				5
27年			1				1
28年			1				1
29年							
30年							
31年							
32年			2				2
33年				1			1
34年							
35年	1	6	1	1			9
合計	1	8	20	7	6	14	56

職員階級別年齢状況

令和 2. 4. 1現在

年齢	階級	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
18歳								
19歳							1	1
20歳							1	1
21歳							1	1
22歳							3	3
23歳								
24歳							3	3
25歳							3	3
26歳								
27歳							1	1
28歳						2		2
29歳						1	1	2
30歳						1		1
31歳						2		2
32歳								
33歳					2			2
34歳					2			2
35歳								
36歳								
37歳					1			1
38歳				2				2
39歳				1				1
40歳								
41歳				1				1
42歳				1				1
43歳				1				1
44歳				3				3
45歳				2				2
46歳				1				1
47歳				2				2
48歳				2				2
49歳								
50歳				2				2
51歳				1				1
52歳								
53歳								
54歳			1					1
55歳			6					6
56歳								
57歳								
58歳								
59歳		1	1	1				3
60歳								
61歳								
62歳					2			2
合 計		1	8	20	7	6	14	56

平均年齢 39.5 歳

消防本部(署)庁舎の概要

令和 2. 4. 1現在

所在地	三重県三重郡菟野町大字潤田4418番地 (敷地面積:5,039.21㎡)					
区分	庁舎	仮設庁舎	訓練棟			車庫棟
	消防署	消防本部	主塔	副塔	倉庫棟	車庫棟
建設年	昭和60年竣工	平成26年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	令和2年竣工
構造	RC2階建	鉄骨2階建	RC4階建	鉄骨3階建	鉄骨2階建	鉄骨平屋建
建築面積	537.7㎡	114.4㎡	39.4㎡	38.6㎡	87.6㎡	53.4㎡
延床面積	858.4㎡	226.8㎡	129.6㎡	94.3㎡	175.2㎡	53.4㎡
1 F	528.1㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡	53.4㎡
2 F	309.3㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡	
3 F	(P.H)21.0㎡		32.4㎡	28.9㎡		
4 F			32.4㎡			

現有消防車両

令和 2. 4. 1現在

車種	区分	車名	規格等	登録番号	登録年月日	排気量 (cc)	車両総重量 (kg)	免許区分
はしご車		日野	30m級	三重800は1877	H26. 3. 19	8,860	19,120	大型
救助工作車		日野	II型	三重800は1347	H20. 3. 13	7,680	11,470	大型
水槽付ポンプ車		日野	水-IA型	三重800は1184	H19. 1. 29	6,400	9,390	中型
小型動力ポンプ付水槽車		日野	I型	三重800と2002	R 2. 2. 27	5,120	12,655	大型
ポンプ車		日野	CD-I型 (CAFS付)	三重800せ 6	H26. 12. 4	4,000	6,755	準中型
救急1号車		日産	災害対応	三重830す1711	H29. 11. 17	3,490	3,295	普通
救急2号車		日産	高規格	三重830せ1511	H27. 11. 17	3,490	3,265	普通
救急3号車		日産	高規格	三重800す7167	H22. 12. 2	3,490	3,235	普通
査察車		トヨタ	ワゴン	三重800す5463	H20. 12. 11	1,980	2,100	普通
広報車		トヨタ	ワゴン	三重800す8616	H24. 12. 27	2,690	2,670	普通
資機材搬送車		いすゞ	2t積	三重800せ 127	H27. 1. 29	2,990	4,905	準中型

通信施設状況

令和 2. 4. 1現在

	種類	数量	備考
菰野町消防本部、 消防署	車載移動無線局 (デジタル)	12局	菰野波1~2、四日市波1~4、桑名波1~3、統制波1~3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	携帯移動無線局 (デジタル)	16局	菰野波1~2、四日市波1~4、桑名波1~3、統制波1~3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	消防団車載移動無線局 (デジタル)	11局	菰野波2、消防団波
	消防団携帯移動無線局 (デジタル)	11局	菰野波2、消防団波
	半固定無線局 (デジタル)	4局	こもの200【卓上型】 こもの201【可搬型】 こもの202【卓上型】 こもの203【卓上型】 役場災害対策室設置 菰野波1~2、四日市波1~4、桑名波1~3、統制波1~3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	消防救急デジタル無線基地局 (活動波)	1局	活動波：みえきたしれいこもの(菰野波1~2) 【通信所】こものしょうぼう
	三重県消防救急デジタル無線基地局 共通波(菰野中継所)	1局	みえきょうつうこもの(主運用波、統制波1~3) 【通信所】こものしょうぼう
	三重県防災行政無線局	3局	衛星局、地上局、可搬型衛星地球局
	携帯移動無線局 (署活動用携帯型)	36局	こもの310~339、341~343、こもの300~302 署活1~2、消防団波
	デジタル簡易無線局 (携帯型)	15台	
	車両運用端末装置Ⅲ型 (AVM)	11台	ドコモFOMA回線
	職員招集メール発信システム	1式	
	菰野町行政情報メール発信システム	1式	
	指令センター用内線電話機	1回線	三重北消防指令センター連絡用
	駆付け通報装置	1回線	三重北消防指令センターへ直接通報用(玄関前に設置)
	一般加入電話	2回線 4ch	
	F A X	1回線 2ch	一般用、福祉用
	救急車積載携帯電話	5台	
	衛星携帯電話	2台	
	携帯電話	3台	本部1、署2
三重北消防指令センター	報知電話(119)	7回線 14ch	固定電話、携帯電話、IP電話
	F A X 1 1 9	1台	
	N e t 1 1 9	2台	
	順次指令装置	6回線 12ch	指令台連動
	消防テレフォンガイド	1回線 2ch	指令台連動 NTTテレトキにより同時に5回線受信可能
	指令メール	1式	火災指令メール
	多言語三者間同時通訳システム	1回線	通訳センターを介した多言語三者間同時通訳

※三重北消防指令センターは菰野町消防本部、四日市市消防本部、桑名市消防本部が消防通信指令事務を共同運用しています。

消防水利状況

令和2.4.1現在

水 利		地 区	菰 野	鶉川原	竹 永	朝 上	千 種	合 計
消 火 栓	管 径 50 mm 以下		5		1		2	8
	管 径 75 mm		172	81	100	123	111	587
	管 径 100 mm		150	44	38	112	75	419
	管 径 150 mm 以上		160	62	37	85	82	426
	合 計		487	187	176	320	270	1,440
防 火 水 槽	容 量 20 m ³ 未 満		2		2	6	2	12
	容 量 20 m ³ 以上 40 m ³ 未 満		21	3	7	13	4	48
	容 量 40 m ³ 以 上		4	2	1	3	8	18
	耐 震 性 貯 水 槽 40 m ³		7	1	1	2	2	13
	耐 震 性 貯 水 槽 100 m ³		1	1	1	1	1	5
	プ ー ル		4	1	1	2	1	9
	合 計		39	8	13	27	18	105
自 然 水 利	河 川		51	17	12	74	61	215
	池		8	2	3	16	12	41
	合 計		59	19	15	90	73	256

各種研修実施状況

令和元年中

内 容	区 分	延 時 間	延 人 数	回 数
訓 育		18	43	6
地 理 及 び 水 利		397	511	178
火 災 予 防		153	288	78
電 気 学		3	18	3
勤 務 要 綱		40	124	20
消 防 行 動		6	68	9
消 防 戦 術		45	202	29
消 防 機 械		320	1,127	227
実 施 訓 練		1,138	4,573	663
訓 練 礼 式		10	121	11
救 急 学		1,319	1,283	373
体 育		55	3,130	329

外部研修等派遣状況

令和元年度

派遣	区分	科 目	期 間	人 員
消防大学校		救助科（第79期）	H31. 4. 11～R1. 6. 6	1
		消防団活性化推進コース（第6回）	R2. 1. 20～R2. 1. 24	1
三重県消防学校		救助科 救助課程（第29期）	R1. 9. 9～R1. 10. 10	1
		特別科 指揮課程（第7期）	R1. 12. 9～R1. 12. 14	1
		特別科 救急救命士ブラッシュアップ講習	R2. 2. 4～R2. 2. 6	3
		中級幹部科（第28期）	R2. 2. 13～R2. 2. 21	1
救 急		I C L S（心肺蘇生二次救命処置研修）	R1. 6. 2	1
		J P T E Cプロバイダーコース	R1. 7. 13	3
		I S L Sプロバイダーコース	R1. 9. 8	1
		M C L S（多数傷病者対応研修）	R1. 9. 15	1
		M I E L Sメディカルラリー	R1. 10. 6	5
		救急コ・メディカルセミナー	R1. 10. 17	2
		初級心電図セミナー	R1. 10. 27	1
		P C E Cコース	R1. 10. 21	3
		新生児蘇生法講習会	R1. 12. 20	1
		J P T E Cプロバイダーコース	R2. 1. 21	3
		全国救急隊員シンポジウム	R2. 1. 30～R2. 1. 31	1
	救 助		アリゾナボータックスフレーム講習	R1. 7. 7～R1. 7. 8
		第22回全国消防救助シンポジウム	R1. 11. 29	1
		鉄道車両構造講習	R1. 11. 30	1
		アドバンスロープレスキュー	R1. 12. 19	1
予 防		調査技術会議	R1. 6. 14	1
		予防技術講習会	R1. 8. 2	1
		違反是正研修会	R1. 8. 9	2
		火災調査研究発表会	R1. 10. 18	2
		消防法令違反是正事例発表会	R1. 10. 29	3
		第58回火災科学セミナー	R1. 11. 15	1
		東海地区消防及び警察機関事故原因究明技術研修会	R1. 12. 12	1
		企業防災対策指導研修会	R1. 12. 19	1
		消防法令違反是正研修会	R2. 1. 17	2
		予防技術資格者検定	R2. 3. 15	1
通 信 指 令		通信指令員救急教育指導者研修	R1. 12. 11	1
		通信指令員救急教育	R1. 12. 18	2
		第3回通信指令シンポジウム	R2. 2. 8	1
そ の 他		大型自動車免許取得	R1. 5. 15～R1. 7. 9	3
		酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	R1. 5. 22～R1. 5. 24	1
		緊急自動車ドライバー安全運転研修	R1. 10. 22～R1. 10. 23	1

応急手当普及啓発活動実施状況

菰野町消防本部では平成7年度から応急手当の普及啓発活動実施要綱に基づく普及活動を実施しており、止血法や固定法などを学ぶ救急講習、心肺蘇生法とAEDの取り扱い方法を学ぶ普通救命講習、各区や事業所などで普通救命講習を開催できる指導者を養成する応急手当普及員講習などを開催しています。

区分 年度	救 急 講 習		普 通 救 命 講 習		応 急 手 当 普 及 員 講 習	
	回 数	受 講 者 数	回 数	修 了 者 数	回 数	修 了 者 数
平 成 7 年 度	10	351	5	93		
平 成 8 年 度	16	330	7	78		
平 成 9 年 度	18	384	10	130		
平 成 10 年 度	12	310	8	90		
平 成 11 年 度	14	942	8	142		
平 成 12 年 度	14	382	11	206		
平 成 13 年 度	9	257	13	151		
平 成 14 年 度	9	396	24	408		
平 成 15 年 度	14	592	13	197		
平 成 16 年 度	17	828	16	263		
平 成 17 年 度	9	1,094	33	480	1	12
平 成 18 年 度	15	734	59	840	5	60
平 成 19 年 度	16	461	60	989	3	57
平 成 20 年 度	4	226	71	1,013	4	72
平 成 21 年 度	11	262	44	592	3	45
平 成 22 年 度	7	302	35	512	2	38
平 成 23 年 度	9	319	45	699		
平 成 24 年 度	11	468	39	628	2	26
平 成 25 年 度	6	276	37	571	1	29
平 成 26 年 度	17	459	45	564	3	28
平 成 27 年 度	21	526	47	636	3	42
平 成 28 年 度	12	427	42	555	3	19
平 成 29 年 度	17	671	45	577	3	17
平 成 30 年 度	8	172	40	541	3	22
令 和 元 年 度	16	249	37	480	2	11
合 計	312	11,418	794	11,435	38	478

自主防災組織

令和 2. 4. 1現在

(1) 婦 人 消 防 隊	}	菰野地区婦人消防隊 (昭和43年4月21日結成 377 人)
		鵜川原地区婦人消防隊 (昭和40年3月20日結成 78 人)
		竹永地区婦人消防隊 (昭和58年6月 1日結成 72 人)
		朝上地区婦人消防隊 (昭和42年4月 1日結成 147 人)
		千種地区婦人消防隊 (昭和57年4月21日結成 116 人)
<hr style="border-top: 1px solid black;"/>		合計 5 隊 総員 790 人

(2) 自 警 団
 合計 32 団 総員 731 人

菰 野 地 区	}	神 明 区 (16 人)
		菰 野 第 一 区 (37 人)
		菰 野 第 三 区 (143 人)
		宿 野 区 (18 人)
		福 村 区 (50 人)
		神 森 区 (14 人)
<hr style="border-top: 1px solid black;"/>		計 6 団 総員 278 人

鵜 川 原 地 区	}	大 強 原 区 (12 人)
		下 村 区 (15 人)
		川 北 区 (15 人)
		池 底 区 (12 人)
		吉 沢 区 (10 人)
		諏 訪 区 (9 人)
<hr style="border-top: 1px solid black;"/>		計 6 団 総員 73 人

竹 永 地 区	}	竹 成 区 (11 人)
		永 井 区 (37 人)
<hr style="border-top: 1px solid black;"/>		計 2 団 総員 48 人

朝 上 地 区	}	榑 区 (13 人)
		松 涛 園 区 (12 人)
		小 島 区 (15 人)
		田 口 新 田 区 (20 人)
		美 山 区 (24 人)
		田 口 区 (9 人)
		日 丘 区 (24 人)
		切 畑 区 (5 人)
		一 本 木 団 地 (10 人)
		青 葉 台 区 (8 人)
<hr style="border-top: 1px solid black;"/>		計 10 団 総員 140 人

千 種 地 区	}	千 草 区 (25 人)
		音 羽 区 (14 人)
		潤 田 区 (34 人)
		三 滝 園 区 (42 人)
		岡 区 (12 人)
		福 松 区 (17 人)
		奥 郷 区 (10 人)
		江 野 区 (38 人)
<hr style="border-top: 1px solid black;"/>		計 8 団 総員 192 人

緊急避難所

令和 2. 4. 1現在

区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
神 明	グリーンホテル	大字千草7054-173	059-392-3111	40
	神明区公会所	大字菰野8475-22		32
大 羽 根 園	大羽根園自治会公会所	大羽根園並木通4	059-394-1884	62
菰 野 第 一 区	菰野第一区第一公会所	大字菰野9007	059-393-2116	29
菰 野 第 二 区	菰野第二区公民館	大字菰野2203-1	059-394-0940	80
菰 野 第 三 区	南部公民館	大字福村148	059-393-1991	128
	第三区民栄会館	大字菰野1419-8	059-394-0986	50
	川原町集会所	大字菰野1778		18
宿 野	宿野公会所	大字宿野230-1	059-394-0913	65
福 村	福村公会所	大字福村272	059-394-2744	56
神 森	神森集落センター	大字神森705	059-394-1984	33
大 強 原	大強原公会所	大字大強原3482-1	059-394-6237	47
下 村	下村公会所	大字下村2166-3		48
川 北	川北公会所	大字川北563	059-393-2074	81
池 底	池底集落センター	大字池底1152	059-394-1127	41
吉 沢	吉沢集落センター	大字吉沢1792-2		44
諏 訪	諏訪公会所	大字諏訪3822	059-394-2904	63
竹 成	竹成区公会堂	大字竹成2116	059-396-1880	78
永 井	永井集落センター	大字永井3832	059-396-1707	34
田 光	田光公会堂	大字田光2066	059-396-0127	90
杉 谷	杉谷公会所	大字杉谷2580	059-396-2319	66
榊	榊公会所	大字榊303		16
松 涛 園	松涛園公会所	大字小島417-185		36
小 島	小島集落センター	大字小島1687-1		33
田 口 新 田	田口新田公会所	大字田口新田2256		42
美 山	美山区公会所	大字田口新田232-32		13
田 口	田口公会所	大字田口2493		56
日 丘	日丘区公会所	大字田口新田117-66		16
切 畑	切畑公会所	大字切畑578-8		12
根 の 平	根の平公会所	大字根の平114-1		10
一 本 木 団 地	一本木公会所	大字榊895-44		24

区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
青葉台	青葉台公会所	大字杉谷1572-187		39
	(株)マキテック三重工場	大字千草4633-9		87
千草	千草公会所	大字千草2763		50
	千草区区民センター	大字千草2510		26
音羽	音羽公会所	大字音羽585-1		31
潤田	潤田集落研修センター	大字潤田499	059-394-1430	79
三滝園	三滝園公会所	大字潤田650-177		26
岡	岡公民館	大字千草4127-10	059-393-4193	56
福松	福松構造改善センター	大字千草5364-16	059-394-5194	42
奥郷	奥郷構造改善センター	大字千草6368-2	059-394-3773	43
江野	江野区公会所	大字千草7045-897	059-392-2105	37

緊急避難所…有効スペース3㎡×1人

風水害時における緊急避難所を補完する施設

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野地区 コミュニティセンター	大字菰野1418	059-394-5333	21
朝上地区	朝上地区 コミュニティセンター	大字田光4291	059-396-0001	22
千種地区	千種地区 コミュニティセンター	大字千草3851	059-393-2052	18

有効スペース(和室) 3㎡×1人

◎緊急避難所を補完する施設とは、緊急避難所で受け入れ出来ない避難者及びキャンプ場宿泊者を受け入れる場合に利用する。

収容避難所

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野町B&G海洋センター	大字菰野4775-1	059-394-3177	381
	菰野小学校	大字菰野1490	059-393-2006	288
	菰野中学校	大字菰野1192	059-393-2122	357
	菰野高等学校	大字福村870	059-393-1131	382
鵜川原地区	鵜川原小学校	大字大強原913	059-393-2118	183
竹永地区	竹永小学校	大字竹成2593-5	059-396-0009	198
朝上地区	朝上小学校	大字田光66	059-396-0004	294
	八風中学校	大字田光3808-18	059-396-0012	338
千種地区	千種小学校	大字千草3861	059-394-2590	333

収容避難所…体育館等3㎡×1人

収容避難所を補完する施設

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野保育園	大字菰野2098	059-393-2135	27
	菰野西保育園	大字菰野8870	059-394-0884	54
	菰野幼稚園・菰野東保育園	大字菰野1485	059-393-1179	69
鵜川原地区	鵜川原幼稚園・鵜川原保育園	大字大強原829-1	059-393-2405	36
竹永地区	竹永幼稚園・竹永保育園	大字永井59	059-396-0527	51
朝上地区	朝上幼稚園・朝上保育園	大字田光3306-2	059-396-0114	44
	北部子ども子育て支援拠点施設	大字田光4293	059-396-0707	41
千種地区	千種幼稚園・千種保育園	大字音羽2240	059-393-2406	51

◎収容避難所を補完する施設とは、収容避難所の収容能力を超える被災者を受け入れる場合に利用する隣接の保育園、幼稚園で、収容人数は、ホール3㎡×1人。

消防団



冬空の中、消防出初式が挙行されました。規律ある分列行進に始まり、優良消防団員の表彰や全消防団員による通常点検及び機械器具点検が行われ、最後は一斉放水で締めくくられました。この一斉放水では、三滝川の堤防から立ち上がる20本の水柱が鈴鹿山脈に映え、多くの観客を魅了しました。

菰野町消防出初式

平成31年1月13日

於：菰野町役場南三滝川河川敷

消防団

消防団は郷土愛の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震、風水害、火災等の災害時には町民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平常時には、火災予防広報、防災指導等に従事し、地域防災上重要な役割を果たしています。

令和元年中における主な活動は、火災件数8件の内、消防団の出動は8回、延べ出動人員235人。その他、出初式、各種訓練、警戒、警備等に出動し活躍しています。

菰野町消防団の沿革

明治27年	消防制度が統一され、当時の菰野村、鶴川原村、竹永村、朝上村、千種村の5村に消防組が組織される。
昭和 3年	町制施行により菰野村が菰野町となる。
昭和14年	警察消防体制の確立により5町村の消防組が警防団に改められる。
昭和23年	消防組織法の施行により5町村の警防団が消防団として組織される。
昭和30年 4月	町村合併促進法の制定により朝上村と千種村が合併し、朝明村となり朝明村消防団が組織される。
昭和31年 9月	菰野町と鶴川原村、竹永村が合併し菰野町となり、菰野町消防団、朝明村消防団の2団となる。
昭和32年 1月	菰野町と朝明村が合併し菰野町となり、同時に菰野町消防団（団員数 159名）に統一、菰野分団、鶴川原分団、竹永分団、朝上分団、千種分団の5分団で組織される。
昭和41年 7月	湯の山地区自警団が湯の山分団となり、全6分団となる。
昭和43年 1月	菰野町役場に本部班が設置される。
昭和58年 4月	本部班が本部分団となり、全7分団となる。
昭和58年 7月	三重県消防操法大会に本部分団が出場し、優勝する。
昭和59年 7月	三重県消防操法大会に朝上分団が出場し、優勝する。
平成 2年10月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、優良賞を獲得する。
平成 6年10月	全国消防操法大会に菰野分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成 9年 2月	第49回日本消防協会定例表彰式において特別表彰「まとい」を受章する。
平成 9年 8月	三重県消防操法大会に鶴川原分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成18年 7月	三重県消防操法大会に竹永分団が出場し、準優勝する。
平成26年11月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、敢闘賞を獲得する。

歴代消防団長(合併以降)

初代	服部 幸太郎	自	昭和32年 1月15日	至	昭和52年 4月 1日
二代	伊藤 正一	自	昭和52年 6月15日	至	昭和55年12月31日
三代	谷 善一	自	昭和56年 1月 1日	至	昭和58年12月31日
四代	辻 収	自	昭和59年 1月 1日	至	平成 7年 2月28日
五代	白木 一	自	平成 7年 3月 1日	至	平成17年 3月31日
六代	小林 幸治	自	平成17年 4月 1日	至	平成29年 3月31日
七代	増田 富雄	自	平成29年 4月 1日	至	平成29年11月21日
八代	服部 卓美	自	平成30年 1月 1日	現在に至る	

消防団の機構、団員数

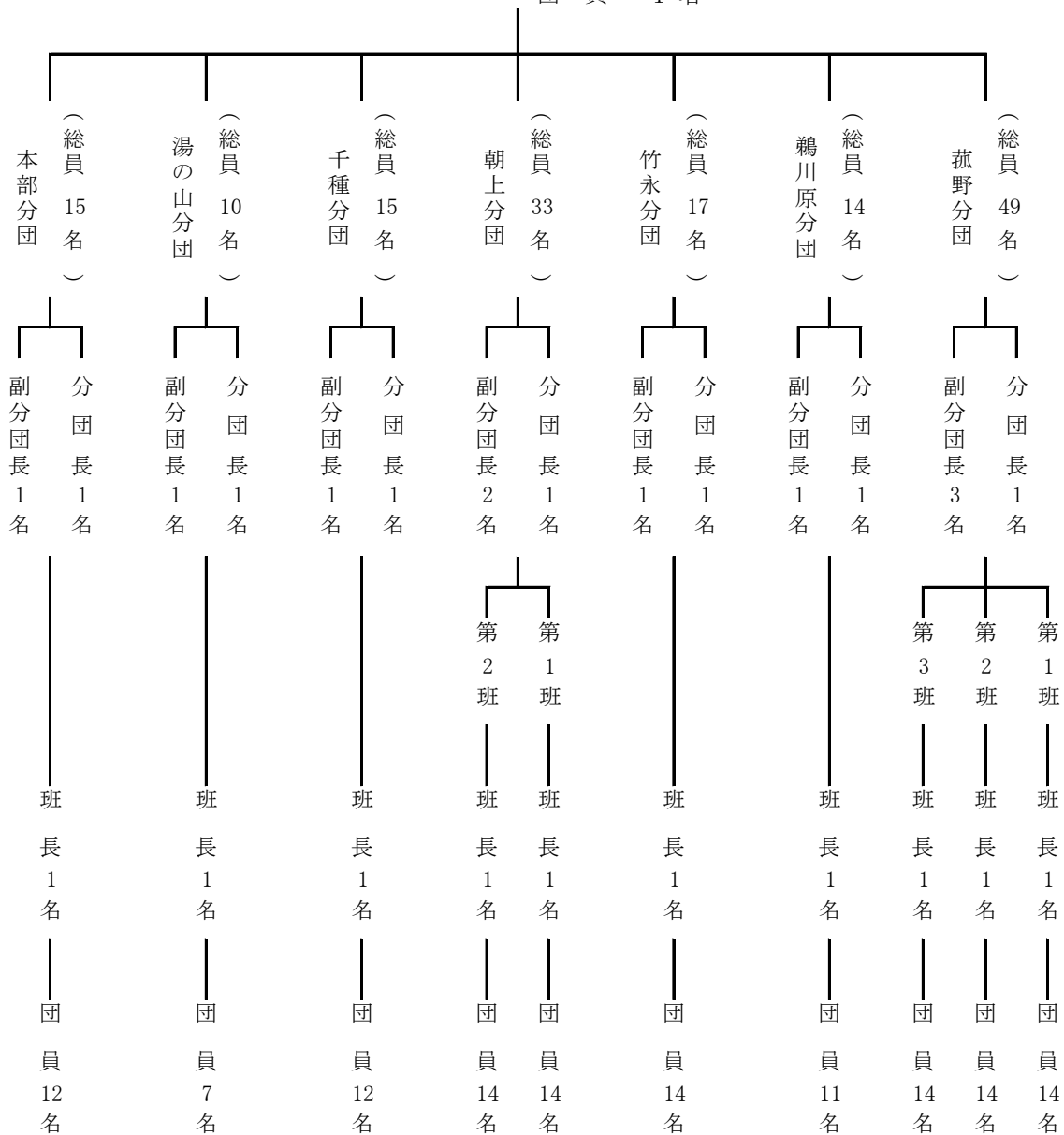
令和 2. 4. 1現在

菰野町消防団 分団数 7分団 (10班)
 団員定数 168名
 現有団員数 157名

菰野町消防団

(総員 157 名)

消防団本部
 団長 1名
 副団長 2名
 団員 1名



年齢別、階級別消防団員数

令和2.4.1現在

年齢 \ 階級	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	合計
18歳～20歳						1	1
21歳～25歳						14	14
26歳～30歳				1	1	44	46
31歳～35歳			1	1	4	40	46
36歳～40歳			1	2	2	22	27
41歳～45歳			1	5	3	5	14
46歳～50歳			4	1			5
51歳～55歳		1				1	2
56歳～60歳		1					1
61歳～65歳	1						1
合計	1	2	7	10	10	127	157

平均年齢 33.2 歳

在職年数別消防団員数

令和2.4.1現在

在職年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合計
団員数	60	38	37	12	5	2	3	157

消防団員報酬

令和2.4.1現在

階級	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員
年間報酬額(円)	186,000	128,000	105,000	87,000	76,000	70,000

消防団員各種手当

令和2.4.1現在

項目	水火災	訓練	警戒	ポンプ点検	車両検査	賄手当	立入検査
1回当りの手当(円)	5,000	2,000	1,000	700	700	700	5,000

※水火災については活動時間が4時間未満の場合は2分の1の額とし、立入検査については日額とする。

消防団員職業別構成表

令和 2. 4. 1現在

職 業	自営業	会社員	公務員	その他 (役員等)	合計
人 数	12	91	39	15	157

消防団消防車両配置状況

令和 2. 4. 1現在

分団名	区分	車 名	規格等	登 録 番 号	登録年月日	排気量 (cc)	車両総重量 (kg)	免 許 区 分
	菰野分団第1班		いすゞ	CD-I	三重800す 715	H17. 2. 9	4, 770	4, 460
菰野分団第2班		いすゞ	CD-I	三重800す7276	H23. 2. 14	2, 990	4, 730	準中型
菰野分団第3班		いすゞ	CD-I	三重800さ9007	H15. 12. 15	4, 770	4, 320	準中型
鶴川原分団		いすゞ	CD-I	三重800す5567	H21. 2. 3	2, 990	4, 620	準中型
竹永分団		いすゞ	CD-I	三重800さ4047	H13. 2. 7	4, 570	4, 470	準中型
朝上分団第1班		いすゞ	CD-I	三重800す4668	H20. 2. 6	2, 990	4, 440	準中型
朝上分団第2班		いすゞ	CD-I	三重800さ7399	H14. 12. 16	4, 770	4, 690	準中型
千種分団		いすゞ	CD-I	三重800さ5820	H13. 12. 18	4, 570	4, 410	準中型
湯の山分団		いすゞ	CD-I	三重800さ4046	H13. 2. 7	4, 570	4, 470	準中型
本部分団		いすゞ	CD-I	三重830せ1702	H29. 2. 22	2, 990	4, 900	準中型
団本部		日産	付積	三重800せ 280	H27. 3. 26	2, 480	3, 220	普通
		トヨタ	付積	三重830な2002	R 2. 2. 21	2, 980	3, 160	普通
		日産	ワゴン	三重502ふ2380	H26. 11. 27	1, 590	1, 735	普通

※付積＝小型動力ポンプ付積載車

予 防



町内の中学生が職場体験学習として、火災予防に関する学習のほか、火災、救急及び救助の訓練を行いながら、消防本部の仕事を体験しました。2日間の体験が終わるころには「消防」という仕事に興味を持ち、ほとんどの生徒が将来は消防士になりたいと言っています。

中学生職場体験学習
令和元年5月、9月
於：菰野町消防本部

予 防

消防のなかで火災等の災害を未然に防止することも重要な仕事のひとつです。一般家庭に対しては、行事、講習会等を通じ防火意識の普及高揚を図るとともに、事業所に対しては危険物の取扱い、消防用設備等の設置、維持、管理等について指導を行っています。

防火対象物現況

用 途		令和2.4.1現在			平成31.4.1現在			
		4階未満	4階以上	合 計	4階未満	4階以上	合 計	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場						
	ロ	公会堂又は集会場	37		37	37	37	
2	イ	キャバレー又はナイトクラブ						
	ロ	遊技場 ダンスホール	4		4	5	5	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	1		1	1	1	
3	イ	待合、料理店						
	ロ	飲食店	42		42	44	44	
4		百貨店、マーケット又は店舗	62		62	63	63	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	30	11	41	31	13	44
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	256	15	271	229	14	243
6	イ	病院、診療所又は助産所	16	2	18	17	2	19
	ロ	老人短期入所施設等	18	4	22	17	3	20
	ハ	老人デイサービスセンター等	23		23	23		23
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	1		1	1		1
7		小学校、中学校、高等学校、各種学校	38	2	40	38	2	40
8		図書館、博物館、美術館	4		4	4		4
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場	1		1	1		1
	ロ	イ以外の公衆浴場	3		3	2		2
10		車両の停車場	2		2	2		2
11		神社、寺院、教会	35		35	37		37
12	イ	工場又は作業場	171	4	175	178	4	182
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫又は駐車場	18		18	18		18
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
14		倉庫	91	3	94	91	3	94
15		前各項に該当しない事業場	115	4	119	115	3	118
16	イ	特定複合用途防火対象物	36	1	37	40	1	41
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	19	3	22	16	3	19
合 計			1,023	49	1,072	1,010	48	1,058

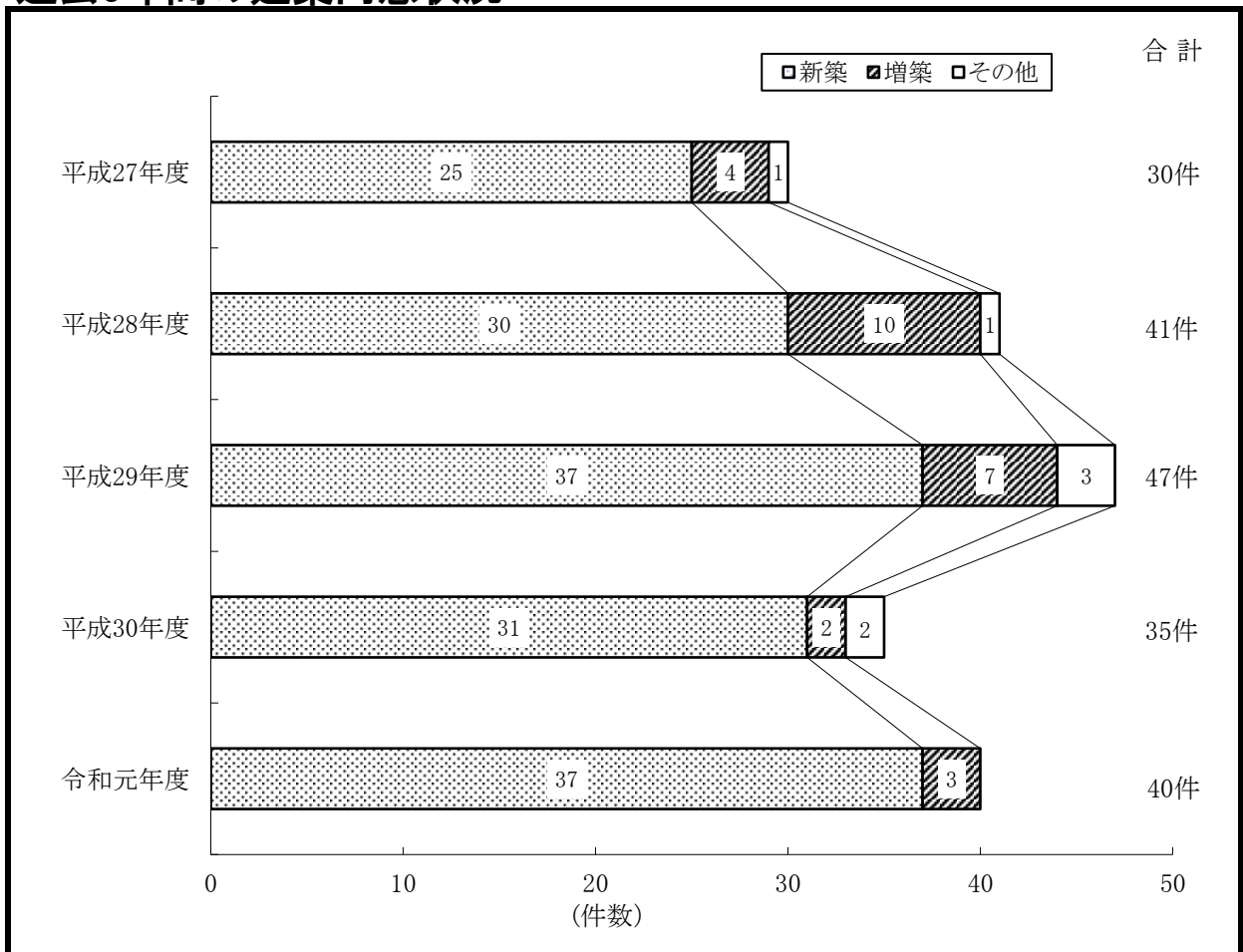
用途別建築同意状況

用 途		月 別												元年度 合 計	30年度 合 計		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場															
	ロ	公会堂又は集会場															1
2	イ	キャバレー又はナイトクラブ															
	ロ	遊技場 ダンスホール															
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等															
	ニ	カラオケボックス等															
3	イ	待合、料理店															
	ロ	飲食店							2			1					3
4		百貨店、マーケット又は店舗					1									1	1
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所															
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅							1			1	1			3	2
6	イ	病院、診療所又は助産所			1											1	1
	ロ	老人短期入所施設等															2
	ハ	老人デイサービスセンター等							1	1				2		4	
	ニ	幼稚園又は特別支援学校															
7		小学校、中学校、高等学校、各種学校	1													1	
8		図書館、博物館、美術館															
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場															
	ロ	イ以外の公衆浴場															
10		車両の停車場															
11		神社、寺院、教会		1											1	2	2
12	イ	工場又は作業場	1	1					1					1	1	5	6
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ															
13	イ	自動車車庫又は駐車場										1				1	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫															
14		倉庫	2			1										3	4
15		前各項に該当しない事業場							2			2	1			5	10
16	イ	特定複合用途防火対象物															1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物															1
その他		住 宅	2	1	1											4	3
		そ の 他	1	1								1	2		2	7	1
合 計			7	4	2	1	1	7	1		6	4	1	6	40	35	

工事別建築同意状況

区分	工事種別					令和元年度 合 計	平成30年度 合 計
	新 築	増 築	改 築	用途変更	そ の 他		
同 意	37	3				40	35
不 同 意							
合 計	37	3				40	35

過去5年間の建築同意状況



危険物施設現況

区分	製造所等の別	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所					令和元年度合計	平成30年度合計	
			小計	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油		第一種販売	第二種販売			一般
												営業用	家用					
倍数別	検査済施設数	1	115	31	12	7	34	1	25	5	55	14	19		1	21	171	178
	5倍以下		60	11	7	7	22	1	10	2	11		3			8	71	68
	5倍超10倍以下		18	3	4		9			2	6					6	24	28
	10倍超50倍以下	1	17	4	1		3		8	1	23	2	15		1	5	41	45
	50倍超100倍以下		4						4		5	2	1			2	9	9
	100倍超150倍以下		7	4					3		1	1					8	8
	150倍超200倍以下		2	2							2	2					4	4
	200倍超1,000倍以下		5	5							7	7					12	10
1,000倍超		2	2													2	4	
類別	第1類		1	1													1	1
	第2類																	
	第3類																	
	第4類	1	113	29	12	7	34	1	25	5	55	14	19		1	21	169	176
	第5類		1	1													1	1
	第6類																	
	混在																	

危険物施設許可認可状況

区分	製造所等の別	許 可				完 成 検 査				仮使用承認		廃 止 届	
		設 置		変 更		設 置		変 更		元年度	30年度	元年度	30年度
		元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度				
製 造 所													
貯蔵所	屋 内	1				1				1		1	
	屋外タンク	1		1		1	1	1		1		1	
	屋内タンク												
	地下タンク					3				3		2	1
	簡易タンク												
	移動タンク		2	2	1		2	2	1				4
	屋 外												
取扱所	給 油					1				2			1
	第一種販売												
	第二種販売												
	一 般			9	15				11	11	9	13	2
合 計		2	2	12	20	2	3	14	18	10	14	5	9

各種届出処理状況

区 分	件 数		区 分	件 数	
	令和 元年度	平成 30年度		令和 元年度	平成 30年度
防火管理者選解任届	69	67	蓄電池設備設置届	4	9
消防計画書	80	72	ネオン管灯設備設置届		
消防用設備等点検結果報告書	305	300	水素ガスを充てんする気球設置届		
液化石油ガス等貯蔵取扱届	15	8	少量危険物貯蔵取扱届	4	57
防火対象物使用開始届	23	32	指定可燃物貯蔵取扱届	1	2
消防訓練実施届	171	160	毒物、劇物貯蔵取扱届		2
炉設置届			火災とまぎらわしい煙等届	82	94
ボイラー設備等設置届	3	14	煙火（打上げ、仕掛け）届	10	10
発電設備設置届	1	5	消防用設備等着工届	42	50
変電設備設置届	7	11	消防用設備等設置届	42	58
防火対象物点検結果報告書	29	28	露店等の開設届	72	55

消防用設備等設置検査実施状況

区 分	件 数	
	令和元年度	平成30年度
検査済証	25	43

広報、啓発活動状況

令和元年度

区 分		回 数 等	延べ対象者数等
消 防 広 場（菰野町文化祭）		1回	約4,000人
庁 舎 見 学		10回	750人
訓 練 指 導		41回	1,623人
一 人 暮 ら し 高 齢 者 防 火 訪 問		14件	14人
巡 回 広 報		11回	町内全域
防 火 だ よ り の 発 刊		2回	27,300部
写 生 大 会、防 火 書 道 コ ン ク ー ル		各1回	831人
広報印刷物等	ポ ス タ ー		1,610枚
	チ ラ シ		2,200枚
	広 報 こ も の	7回	97,300部
	お 知 ら せ 版	14回	193,200部
そ の 他	の ぼ り	62日間	150本
	懸 垂 幕	33日間	5枚
	横 断 幕	35日間	13枚
	防 災 ラ ジ オ 放 送	25回	12,162台

【令和2年度全国統一防火標語】

「その火事を 防ぐあなたに 金メダル」

【令和2年度危険物安全週間推進標語】

「訓練で 確かな信頼 積み重ね」

火災



2019年の4月にはパリのノートルダム大聖堂で、10月には沖縄県の首里城で火災が発生し、世界遺産にも登録されている貴重な建造物等に甚大な被害を及ぼしました。当消防本部では、先人から引き継がれて来た文化財を火災、震災その他の災害から守るとともに、文化財愛護思想の高揚を図る目的で、毎年1月に文化財防火デーに伴う特別消防訓練を行っています。

文化財防火デーに伴う特別消防訓練
平成31年1月23日
於：井出神社

火災

令和元年中は8件の火災が発生し、これら全火災での損害額は15,112千円でした。

火災件数は、前年に比べて5件減少しました。特に建物火災以外の火災が減少しています。なお、負傷者の発生はありませんでした。

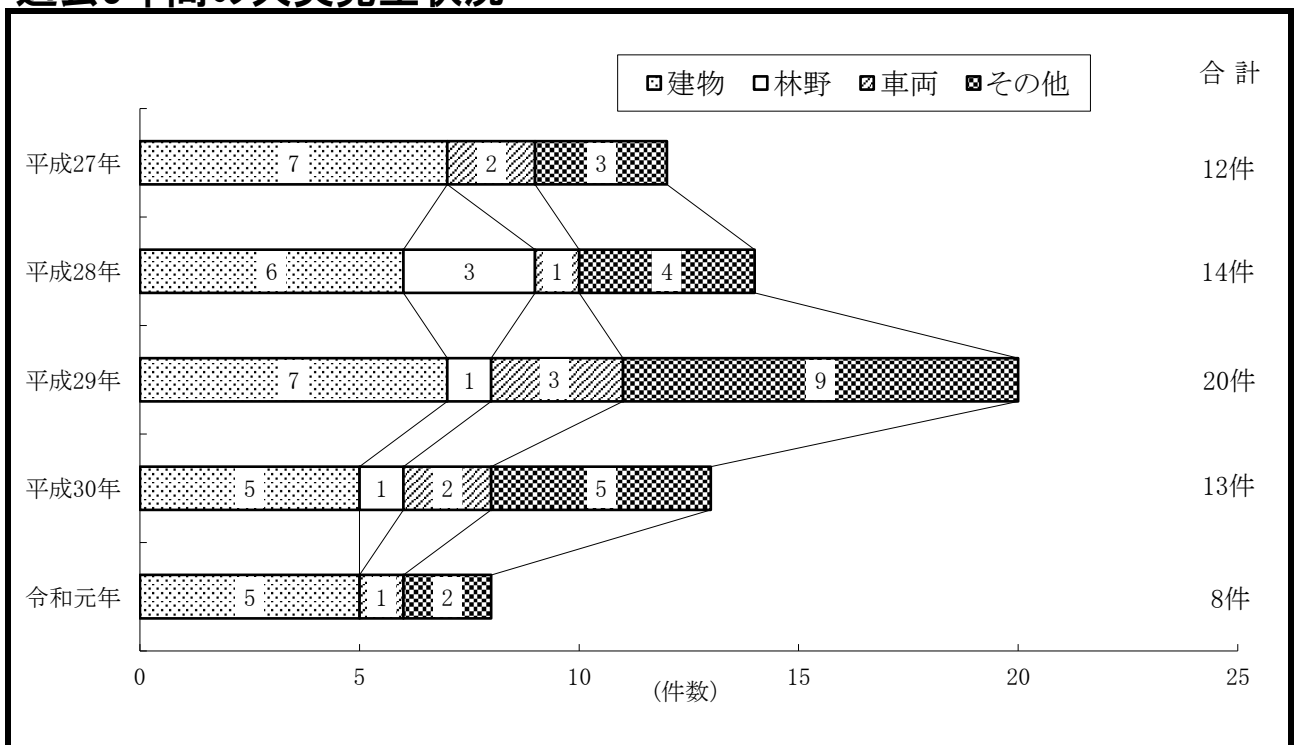
火災発生状況

区 分		年 別				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
全 国	火 災 件 数	39,111	36,831	39,373	37,981	
	出 火 率	3.1	2.9	3.1	3	
	1 件 当 り 損 害 額 (千 円)	2,110	2,043	2,269	2,228	
三 重 県	火 災 件 数	604	654	634	738	
	出 火 率	3.2	3.5	3.4	4	
	1 件 当 り 損 害 額 (千 円)	2,901	1,981	1,384	1,954	
菰野町	火 災 件 数	12	14	20	13	8
	出 火 率	2.9	3.4	4.8	3.1	1.9
	1 件 当 り 損 害 額 (千 円)	2,624	1,888	1,300	156	1,889

※出火率＝人口1万人あたりの出火件数

菰野町人口 41,697人(令和元年12月31日現在)

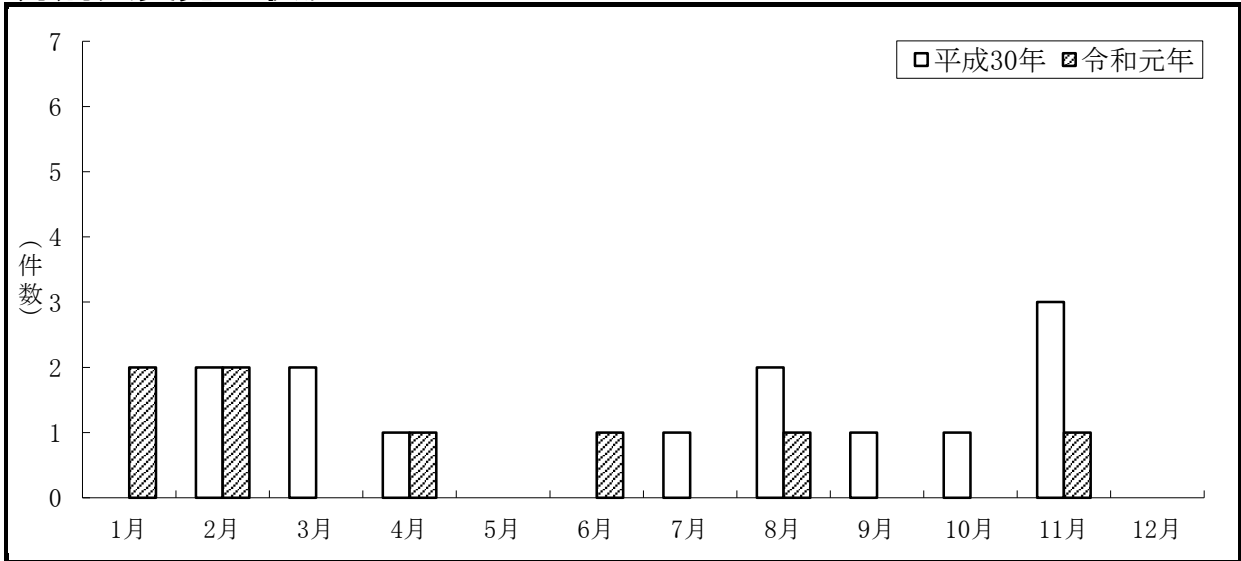
過去5年間の火災発生状況



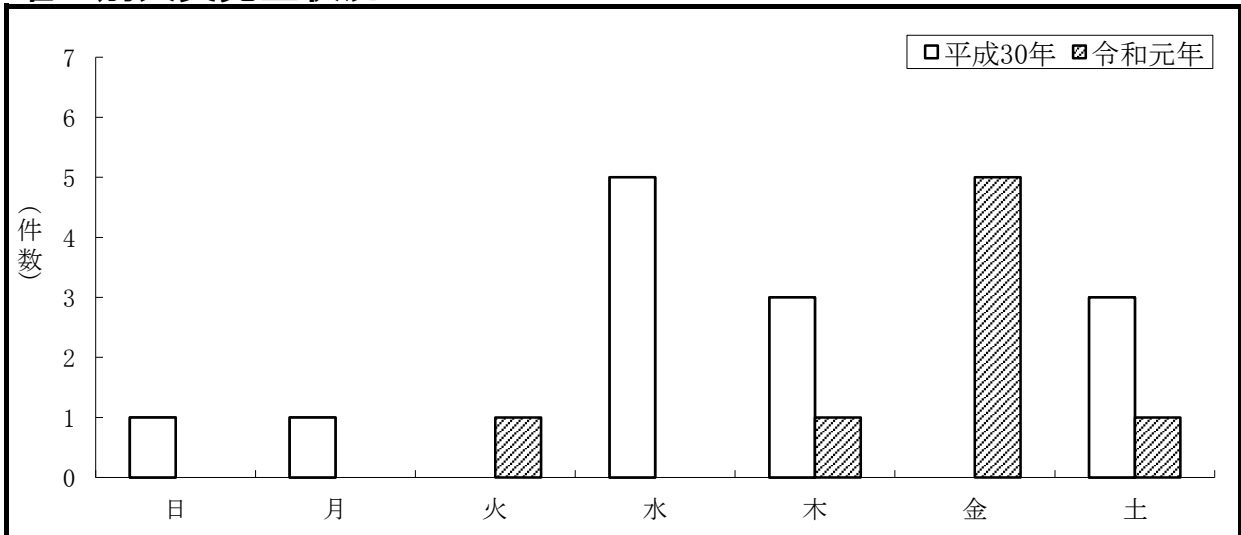
地区別火災発生状況

区分 地区	火災 件数	火災種別				建物 焼損面積 (㎡)	林野 焼損面積 (a)	焼損棟数					り災世帯数	損害額 (千円)	死傷者	
		建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災			全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	合 計			死 者	負 傷者
菰野	4	3		1		52			2	1	3	2	13,870			
鵜川原																
竹永	1	1				8			1		1	1	701			
朝上	1			1												
千種	2	1		1		38		1			1		541			
合計	8	5		1	2	98		1	3	1	5		15,112			

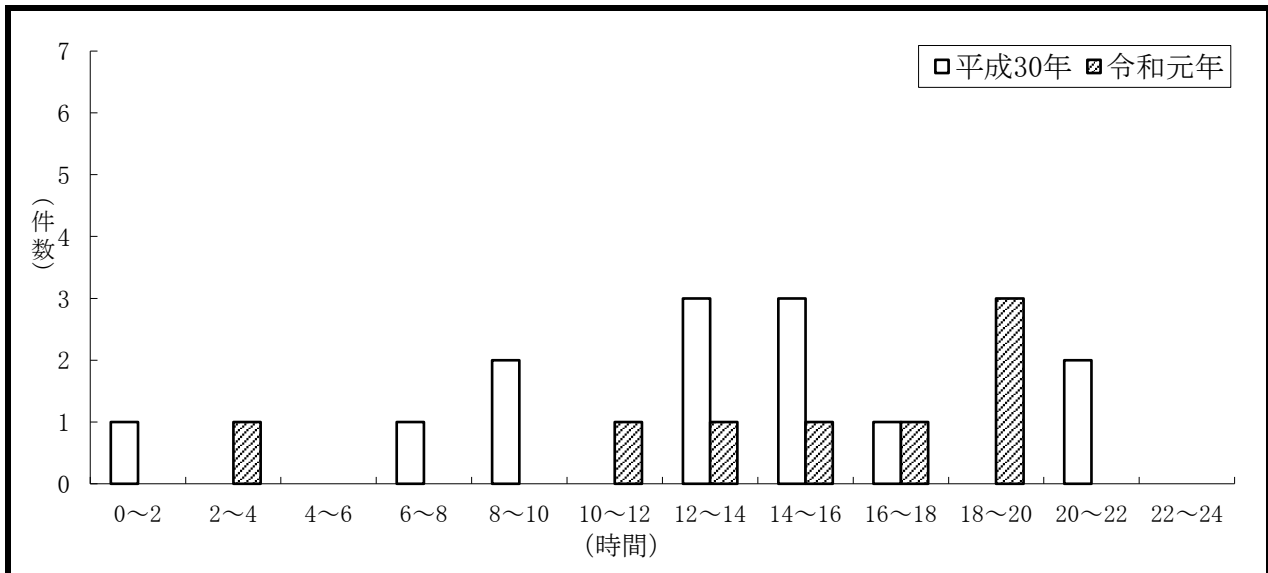
月別火災発生状況



曜日別火災発生状況



時間別火災発生状況



火災出動状況

種別 区分	火 災					非 火 災				管外
	建 物	林 野	車 両	その他	計	警 戒	誤 報 誤 認 虚 報	その他	計	
署単独出動						49	3		52	
第1出動	5		1	2	8					1
第2出動										
第3出動										
事後聞知										
合 計	5		1	2	8	49	3		52	1

火災出動区分詳細

火災種別	出動区分	消防本部・消防署出動車両	消防団出動車両
建物・航空機 危険物施設	第1出動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	地元・近隣・本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	全分団 11車両
林野	第1出動	タンク車・ポンプ車・水槽車・指揮車 4車両	地元・近隣・本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車・ポンプ車・水槽車・指揮車 4車両	全分団 11車両
車両 特殊車両 危険物車両	第1出動	タンク車・ポンプ車・水槽車・指揮車 4車両	地元・本部分団 2~3車両
	第2出動	タンク車・ポンプ車・水槽車・指揮車 4車両	地元・近隣・本部分団 4~5車両
	第3出動	タンク車・ポンプ車・水槽車・指揮車 4車両	全分団 11車両
枯草・その他	第1出動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	地元・本部分団 2~3車両
	第2出動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	地元・近隣・本部分団 4~5車両
	第3出動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	全分団 11車両
中高層	第1出動	タンク車・ポンプ車・はしご車・指揮車 4車両	地元・近隣・本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車・ポンプ車・はしご車・指揮車 4車両	全分団 11車両
トンネル (高速道路)	第1出動	タンク車・ポンプ車・水槽車・救助工作車・指揮車 5車両	
	第2出動	タンク車・ポンプ車・水槽車・救助工作車・指揮車 5車両	
事後聞知		タンク車・指揮車 1~2車両	

※高速道路内の火災は原則として消防団は出動しない。

火災発生状況及び出火原因状況

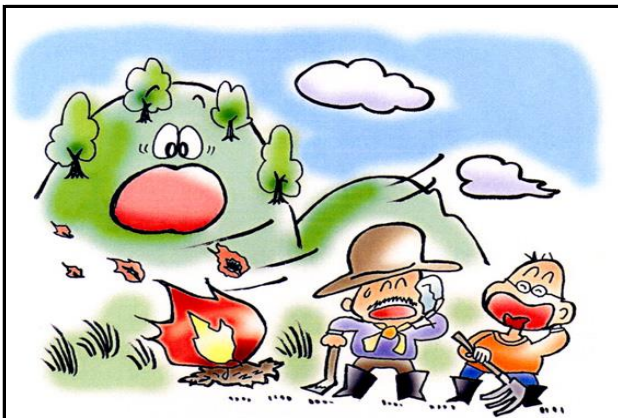
番号	火災種別	出火日時	出火地区 (区)	※覚知別	天候	風向	風速 (m/s)	気温 (℃)	
1	車両	1月3日(木) 3時45分	菰野 (菰野第二区)	報知電話	晴	北東	2	4	
2	建物	1月25日(金) 18時25分	千種 (千草)	報知電話	晴	北西	1	5	
3	建物	2月1日(金) 16時40分	菰野 (菰野第二区)	報知電話	晴	北北東	3	4	
4	その他 枯草	2月22日(金) 14時45分	千種 (千草)	報知電話	晴	北東	1	13	
5	建物	4月26日(金) 10時35分	菰野 (福村)	報知電話	晴	北北東	4	18	
6	建物	6月14日(金) 19時5分	竹永 (竹成)	報知電話	曇	南南東	4	20	
7	建物	8月6日(火) 18時20分	菰野 (菰野第三区)	報知電話	晴	南東	3	29	
8	その他 枯草	11月9日(土) 14時00分	朝上 (田光)	報知電話	晴	西北西	5.3	19	

※ 報知電話 = 119番 (携帯電話等含む)

加入電話 = 一般加入電話

	湿度 (%)	出 火 原 因 等			被 害 状 況
		発 火 源	経 過	着 火 物	
	68	その他の油を燃料とする移動可能な道具	不明	その他	車両一台及び隣接する建物の一部を焼損
	66	不明	不明	不明	木造平屋建て建物及び収容物を焼損（全焼）
	57	ガスこんろ	過熱する	動植物油類	鉄骨2階建て建物の2階の一室を焼損（ぼや）
	46	石油バーナー	火の粉が散る遠くへ飛び火する	立ち枯れした枯草を焼損	休耕田の枯草を焼損
	75	不明	不明	その他	鉄骨平屋建て建物及び収容物を焼損（部分焼）
	89	ロースター	火源が動いて接触する	その他（油かす）	木造二階建て建物及び収容物を焼損（部分焼）
	85	テーブルタップ	電源が短絡する	繊維製品	木造二階建て建物及び収容物を焼損（部分焼）
	34	枯草焼き	火源が動いて接触する	その他（牧草）	牧草を焼損

絵で見る火災原因（8件）



枯草焼き 2件



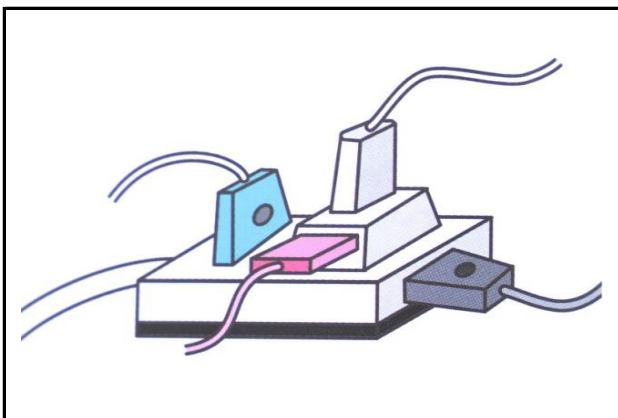
車両積載機材 1件



ロースター 1件



ガスコンロ 1件



電気器具 1件



不明 2件

救急、救助



毎年開催される全国消防救助技術大会に向けた救助訓練を行っています。これは消防の救助技術を全国統一の競技形式とした内容で、この大会に出場するため、隊員は訓練を重ね、体力、気力、技術の向上に努めています。

救助訓練

令和元年7月

於：菰野町消防本部

救 急

令和元年中の救急出動件数は1,598件、搬送人員は1,542人でした。1日あたり平均4.4件の出動で、町民27人に1人の割合で救急車が利用されたこととなります。

救急件数を事故種別で見ると、急病が1,063件(66.5%)で最も多く、続いて一般負傷が265件(16.6%)、交通事故が158件(9.9%)、その他が112件(7%)となりました。

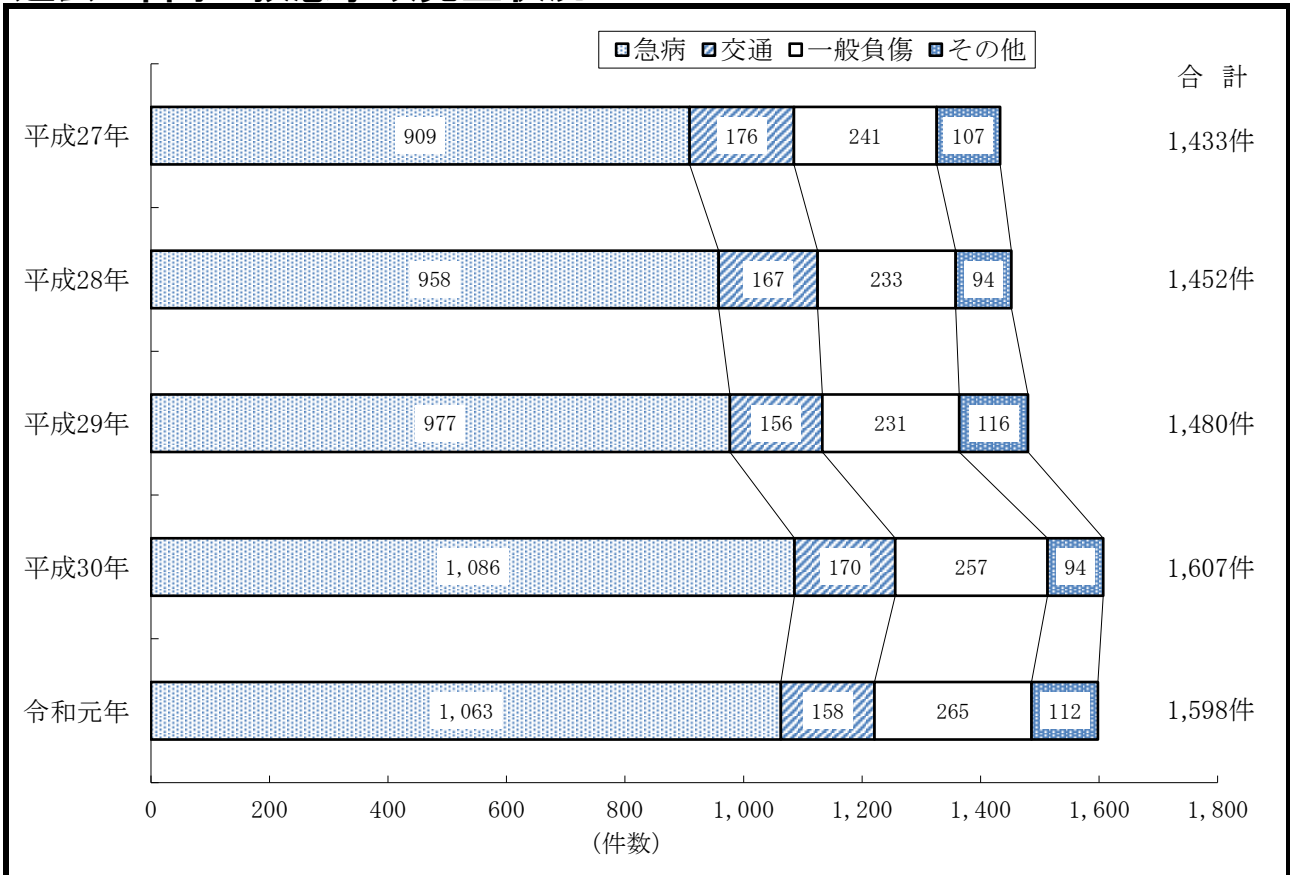
救急事故発生状況

区 別		年 別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
全 国	救急件数		6,054,815	6,209,964	6,342,147	6,605,213	
	発生率		477	489	499	520	
三 重 県	救急件数		90,593	91,492	94,160	100,560	
	発生率		499	504	519	554	
菰 野 町	救急件数		1,433	1,452	1,480	1,607	1,598
	発生率		345	348	354	384	383

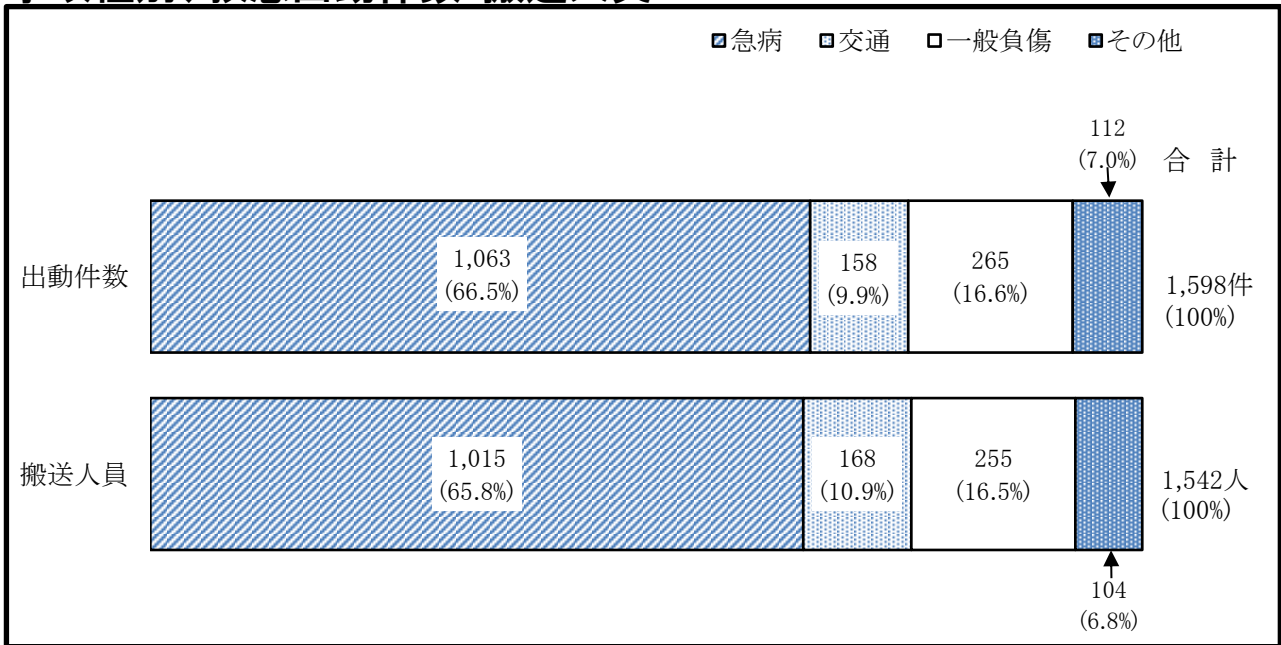
※発生率＝人口1万人あたりの発生件数

菰野町人口 41,697人(令和元年12月31日現在)

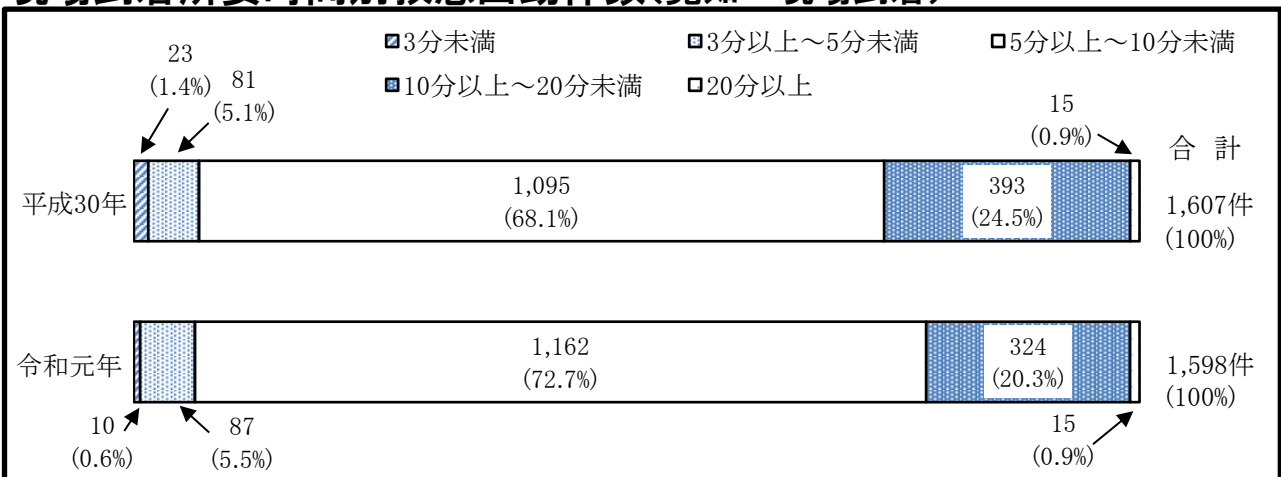
過去5年間の救急事故発生状況



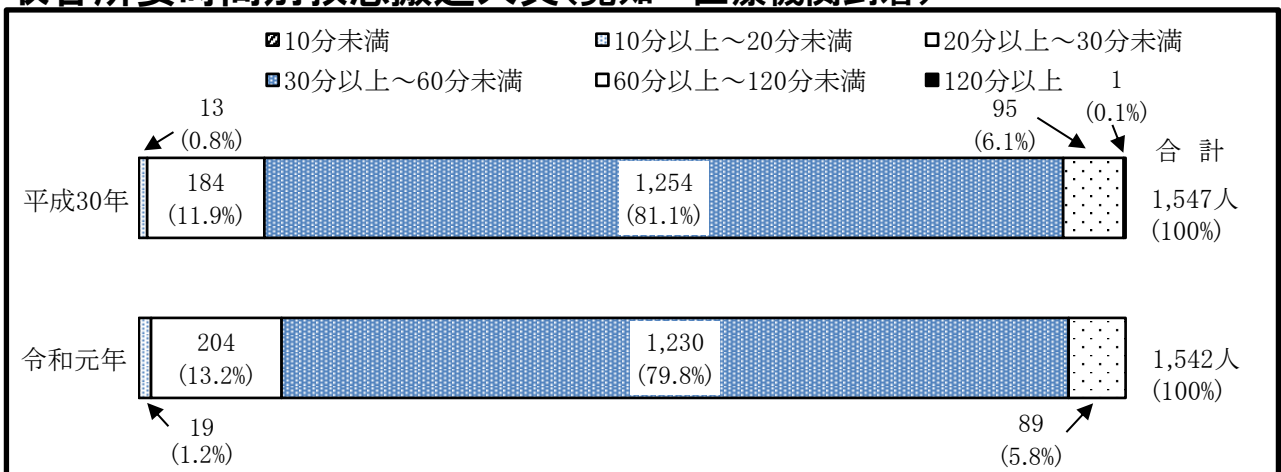
事故種別、救急出動件数・搬送人員



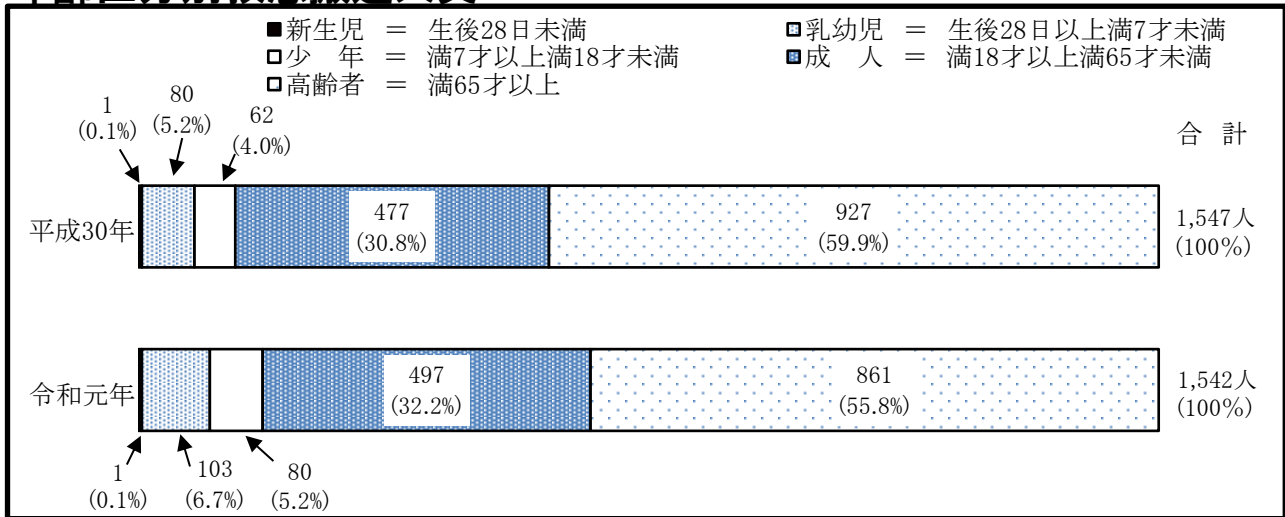
現場到着所要時間別救急出動件数(覚知～現場到着)



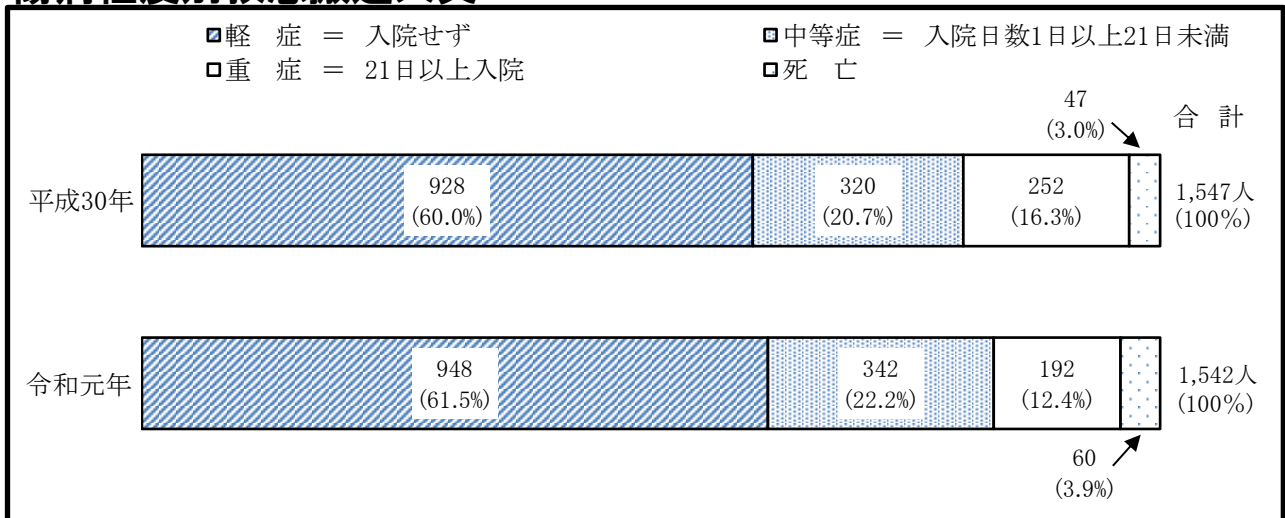
収容所要時間別救急搬送人員(覚知～医療機関到着)



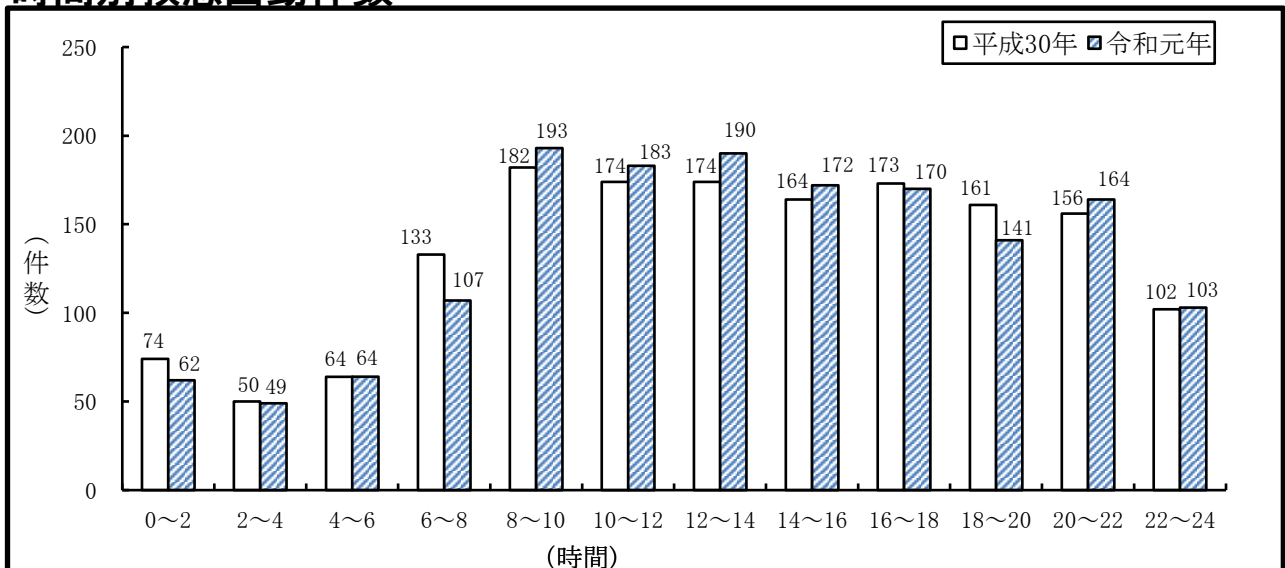
年齢区分別救急搬送人員



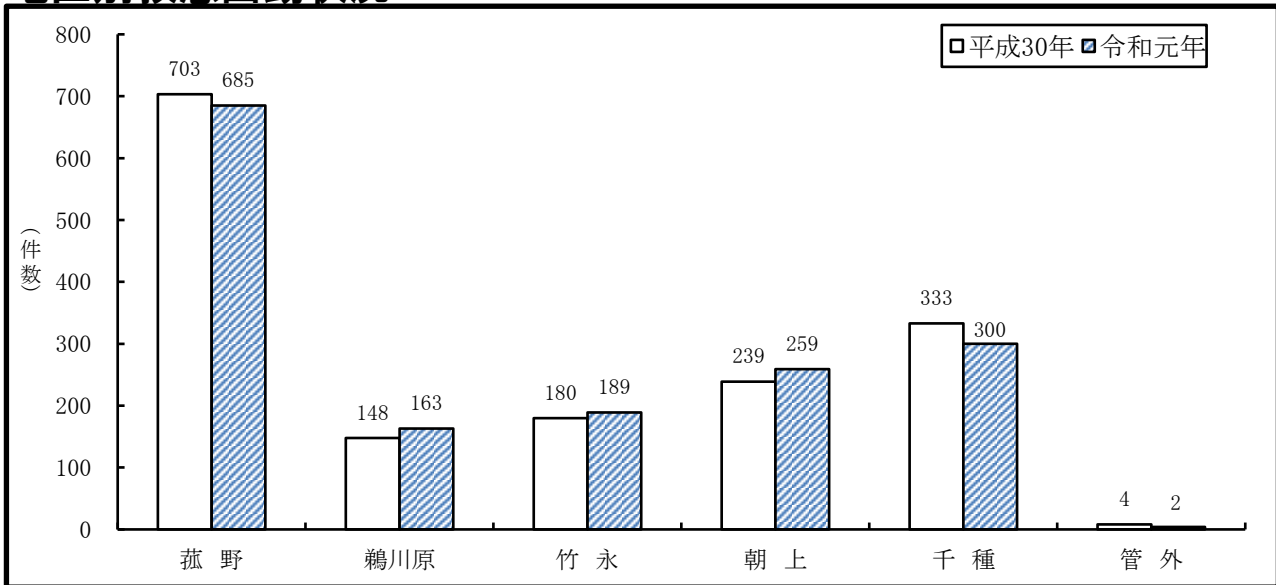
傷病程度別救急搬送人員



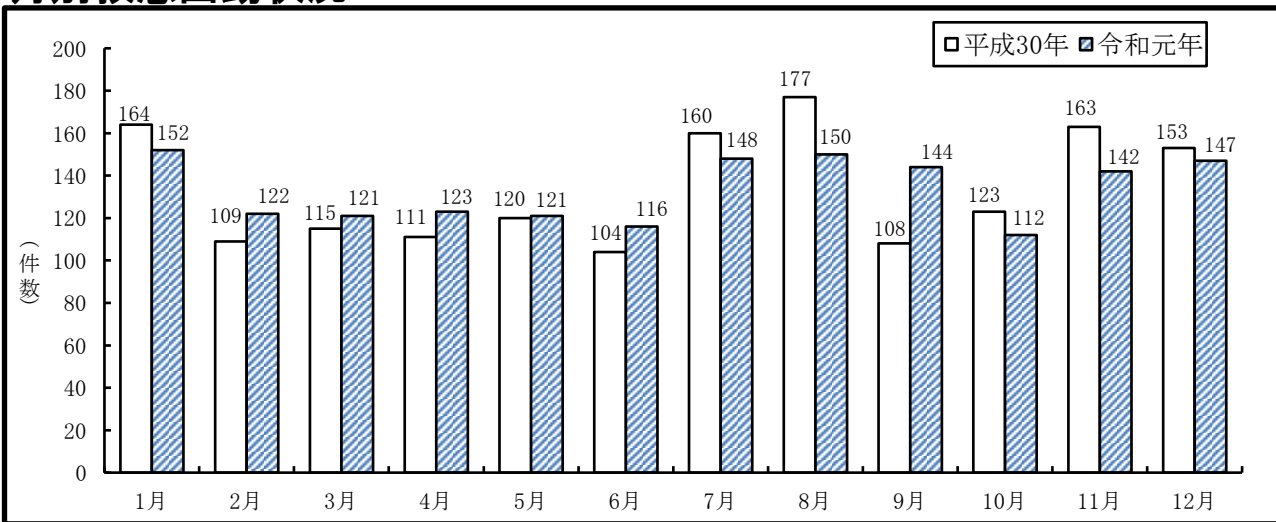
時間別救急出動件数



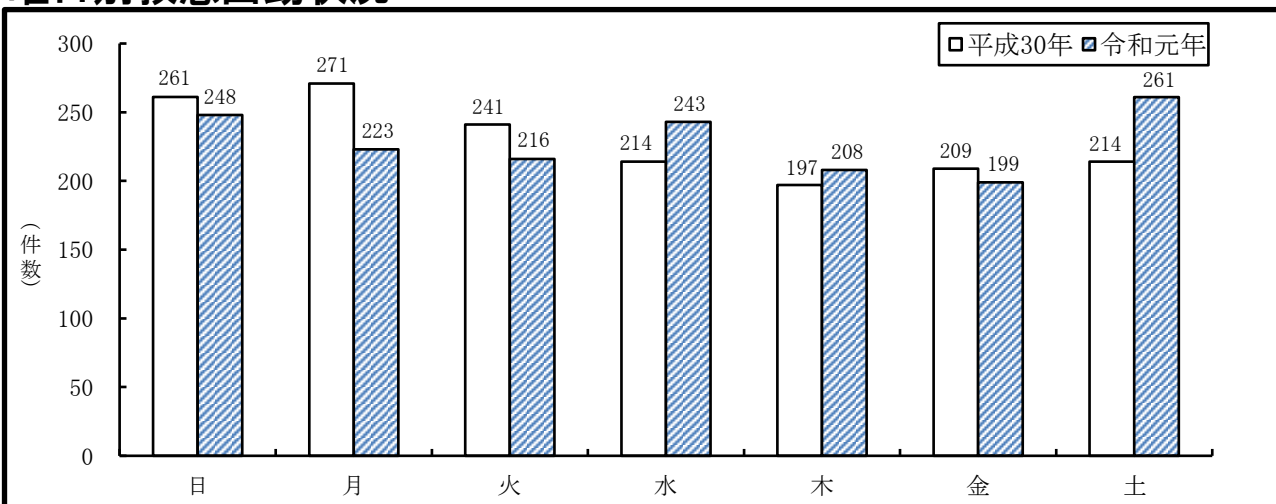
地区別救急出動状況



月別救急出動状況



曜日別救急出動状況



年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	令和元年 合計	平成30年 合計
死亡				6	54	60	47
重症		2	5	61	124	192	252
中等症	1	14	10	71	246	342	320
軽症		87	65	359	437	948	928
その他							
合計	1	103	80	497	861	1,542	1,547

事故種別、年齢区分別救急搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和元年 合計	平成30年 合計
新生児										1		1	1
乳幼児		1		8		1	27			65	1	103	80
少年				23		7	11			37	2	80	62
成人		2		96	20	3	57	1	5	301	12	497	477
高齢者				41			160	3	4	611	42	861	927
合計		3		168	20	11	255	4	9	1,015	57	1,542	1,547

事故種別、傷病程度別救急搬送人員

事故種別 傷病程度	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和元年 合計	平成30年 合計
死亡				2			4		2	52		60	47
重症				12	6		31	1	5	119	18	192	252
中等症				20	8	2	41		1	244	26	342	320
軽症		3		134	6	9	179	3	1	600	13	948	928
その他													
合計		3		168	20	11	255	4	9	1,015	57	1,542	1,547

事故種別、時間別救急出動件数

事故種別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	令和元年合計	平成30年合計
区分	休日				25	3	4	55	1	3	239	2	332	345
	休日以外の日		3		133	17	7	210	3	12	824	57	1,266	1,262
時間内	0～2		1		2	1		8			50		62	74
	2～4				4			6			38	1	49	50
	4～6				8			11			45		64	64
	6～8				8	2		12	1	1	83		107	133
	8～10				19	5	3	24		2	132	8	193	182
	10～12				14	2	2	33		2	116	14	183	174
	12～14				23		1	37	1		111	17	190	174
	14～16				19	3	3	35		3	103	6	172	164
	16～18		2		30	3	2	29	2	4	90	8	170	173
	18～20				11	4		26		3	94	3	141	161
	20～22				13			31			119	1	164	156
22～24				7			13			82	1	103	102	
令和元年計			3		158	20	11	265	4	15	1,063	59	1,598	
平成30年計					170	21	5	257	5	20	1,086	43		1,607

事故種別、応急処置件数

事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
止血	11	20	78	11	120
固定	11	109	85	22	227
人工呼吸	5				5
心肺蘇生	49	3	4	3	59
酸素吸入	292	25	20	19	356
気道確保	64	3	5	4	76
気道確保（特定行為）	10	1			11
保温	429	56	97	39	621
被覆	4	30	82	8	124
除細動	1		2		3
静脈路確保	45	2	2	3	52
薬剤投与	29	1	1	3	34
ブドウ糖投与	9	1			10
その他	3,446	514	677	317	4,954
合計	4,405	765	1,053	429	6,652

※人工呼吸は単独で行った場合のみ計上。その他は血圧、血中酸素飽和度の測定、聴診器による呼吸音聴取等。

事故種別、医療機関別救急搬送人員

告示別等	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		令和元年合計		平成30年合計		
	開設別		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		
救急告示医療機関	国立		2	2							2	2	1	1	
	公立		636	636	90	90	151	151	75	75	952	952	971	971	
	公的		298	61	72	33	96	35	23	9	489	138	485	138	
	私的	病院		65	65	6	6	8	8	6	6	85	85	81	81
		診療所													
	計		1,001	764	168	129	255	194	104	90	1,528	1,177	1,538	1,191	
その他の医療機関	国立												1	1	
	公立														
	公的		1	1							1	1			
	私的	病院		9	9							9	9	2	2
		診療所		4	3							4	3	6	3
	計		14	13							14	13	9	6	
計	国立		2	2							2	2	2	2	
	公立		636	636	90	90	151	151	75	75	952	952	971	971	
	公的		299	62	72	33	96	35	23	9	490	139	485	138	
	私的	病院		74	74	6	6	8	8	6	6	94	94	83	83
		診療所		4	3							4	3	6	3
	計		1,015	777	168	129	255	194	104	90	1,542	1,190	1,547	1,197	
その他の場所	接骨院等														
	その他														
	計														
令和元年計			1,015	777	168	129	255	194	104	90	1,542	1,190			
平成30年計			1,043	792	175	134	243	195	86	76			1,547	1,197	

救助出動状況

令和元年中は、31件の救助出動がありました。当町は面積の約3分の1が山岳地帯で多数の登山者が入山することから山岳救助事案が多く発生しています。（山岳救助件数16件）

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
1	そ の 他	2 月 15 日 (金) 15 時 41 分	菰 野 (福 村)	報 知 電 話	
2	そ の 他 (山 岳)	3 月 10 日 (日) 9 時 31 分	朝 上 (杉 谷)	報 知 電 話	
3	そ の 他 (山 岳)	4 月 8 日 (月) 12 時 16 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
4	そ の 他 (山 岳)	5 月 5 日 (日) 16 時 23 分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
5	そ の 他	5 月 12 日 (日) 2 時 47 分	千 種 (潤 田)	報 知 電 話	
6	そ の 他 (山 岳)	5 月 13 日 (月) 12 時 57 分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
7	そ の 他 (山 岳)	5 月 14 日 (火) 10 時 39 分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
8	そ の 他 (山 岳)	5 月 25 日 (土) 12 時 36 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
9	そ の 他	5 月 29 日 (水) 21 時 21 分	鶺 川 原 (川 北)	報 知 電 話	
10	交 通	6 月 1 日 (土) 3 時 39 分	新 名 神 下 り 線	報 知 電 話	
11	そ の 他 (山 岳)	6 月 2 日 (日) 10 時 47 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
12	そ の 他 (山 岳)	6 月 3 日 (月) 14 時 11 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
13	交 通	7 月 10 日 (水) 12 時 11 分	鶺 川 原 (大 強 原)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119 番 (携 帯 電 話 等 含 む)

加 入 電 話 = 一 般 加 入 電 話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	救助工作車 救急1号車	4 3	木製のベビーサークルの柵に首が挟まり抜けられない。	先着の救急隊により救出が完了したため、出場途中で帰署した。
	広報車 救急1号車	4 3	尾高山行者コースを登山中に痙攣を起こした。	背負い搬送で登山口まで救出した。
	広報車 救急1号車	5 3	御在所岳裏道登山道を登山中に滑落し、頭部及び顔面を負傷した。	背負い搬送で登山口まで救出した。
	広報車	4	釈迦ヶ岳水無尾根分岐付近を下山中に両足が痙攣し動けない。	介添え搬送で登山口まで搬送した。
	救助工作車 救急1号車	4 3	橋から約2m下の用水路に転落した。	隊員1名が用水路へ進入し、かぎ付きはしごを使用して地上へ救出した。
	広報車	4	御在所岳裏道登山道を下山中に転倒し、右足を負傷した。	背負い搬送で、ヘリコプターによるピックアップが可能な場所まで搬送後、滋賀県防災航空隊により県立総合医療センターへ搬送した。
	広報車 救急1号車	4 3	御在所岳裏道登山道を登山中に滑落し、頭部を負傷した。	介添え搬送で登山口まで搬送した。
	広報車 救急1号車	4 3	御在所岳中道登山道を下山中に両足が痺れ歩けない。	背負い搬送で登山口まで救出した。
	救助工作車 救急1号車	4 3	橋から約3m下の用水路に転落した。	担架を使用し、徒手搬送で、橋上まで救出した。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 3 3	新名神鈴鹿PA入口側道において路側帯に停車中の大型トラックに普通乗用車が追突した。	救助の必要はなかったため、救急隊の活動支援及び漏油対応を行った。
	広報車 救急2号車	4 3	御在所岳裏道登山道を下山中に転倒し左手首を負傷した。	介添え搬送で登山口まで搬送した。
	広報車	4	御在所岳中道登山道キレット付近にて迷い、崖を下り、登山道へ戻れなくなった。	滋賀県防災航空隊と協力し、ヘリコプターによるピックアップ後、三滝川河川敷へ搬送した。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 3 3	右折待機中の車両に後方から軽四自動車追突し横転、自力で脱出できない。	先着の救急隊により救出されていたため、救出活動は行わず、情報収集及び横転車両の転倒防止を行った。

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
14	そ の 他 (山 岳)	7 月 21 日 (日) 18 時 05 分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
15	交 通	7 月 23 日 (火) 14 時 05 分	鶉川原 (大強原)	報 知 電 話	
16	交 通	8 月 5 日 (月) 1 時 20 分	朝 上 (小島)	報 知 電 話	
17	そ の 他 (山 岳)	8 月 24 日 (土) 16 時 28 分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
18	交 通	8 月 26 日 (月) 11 時 20 分	鶉川原 (池底)	報 知 電 話	
19	自 然 災 害	9 月 6 日 (金) 1 時 16 分	朝 上 (杉谷)	報 知 電 話	
20	自 然 災 害	9 月 11 日 (水) 16 時 46 分	朝 上 (杉谷)	報 知 電 話	
21	そ の 他 (山 岳)	10 月 5 日 (土) 9 時 30 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
22	交 通	10 月 9 日 (水) 3 時 10 分	新名神下り線	加 入 電 話	
23	そ の 他	10 月 17 日 (木) 15 時 30 分	千 種 (千草)	報 知 電 話	
24	そ の 他	10 月 23 日 (水) 0 時 26 分	竹 永 (永井)	報 知 電 話	
25	そ の 他 (山 岳)	11 月 2 日 (土) 13 時 23 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
26	交 通	11 月 3 日 (日) 11 時 59 分	千 種 (千草)	報 知 電 話	
27	そ の 他 (山 岳)	11 月 5 日 (火) 13 時 30 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119 番 (携 帯 電 話 等 含 む)
 加 入 電 話 = 一 般 加 入 電 話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	広報車	4	御在所岳裏道登山道を下山中に国見尾根に迷い込み、雨により疲労し動けなくなった。	介添え搬送で登山口まで救出した。
	救助工作車	4	自転車同士の接触により自転車のクランクとフレームに左足が挟まった。	油圧スプレッダーでフレームを破壊し、足の挟まりを開放した。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 3 3	自動車同士の衝突により1台が横転し、自力で脱出できない。	先着の救急隊により救出されていたため、救出活動は行わず、漏油対応を行った。
	広報車	4	御在所岳中道登山道を下山中に道に迷い、約3m滑落した。	自力歩行可能であったため、誘導により登山口まで救出した。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 3 3	自動車同士の衝突により、運転席側のドアが破損し脱出できない。	先着の救急隊と協力し、助手席側から救出後、別の車両の運転手の観察及び情報収集を行った。
	救助工作車 救急1号車	4 3	豪雨による避難中の自動車が洪水により走行不能になり、車内に閉じ込められた。	窓から抱きかかえて救出した。
	救助工作車 救急1号車 救急2号車	4 3 3	自動車にて走行中、大雨により陥没した道路に気付かず転落した。	自力で脱出していた傷病者を観察し、救急隊に引き継ぎ後、事故車両の漏油等の確認を行った。
	広報車 資機材搬送車	4 2	御在所岳本谷登山道不動滝付近で約4m滑落し、腰部の痛みにより歩けない。	背負い搬送で、ヘリコプターによるピックアップが可能な場所まで搬送後、三重県防災航空隊により県立総合医療センターへ搬送した。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 3 3	新名神鈴鹿PA入口側道において路側帯に停車中の大型トラックに大型トラックが追突、追突したトラックの運転手が閉じ込められた。	油圧切断機及び可搬ウィンチで、挟まれ箇所を開放し救出した。
	救助工作車 救急2号車	4 3	約4m下の空地に転落した。	救助の必要はなかったため、救急隊の活動支援を行った。
	救助工作車 救急1号車	4 3	下水道工事の為、掘削していたところ壁面が崩れ、約3m転落した。	現場関係者により救出済みであったため、救急隊の活動支援を行った。
	広報車	4	御在所岳裏道登山道中道分岐付近で両足が痙攣し歩けない。	背負い搬送で、ヘリコプターによるピックアップが可能な場所まで搬送後、三重県防災航空隊により県立総合医療センターへ搬送した。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車 救急2号車	4 3 3 3	自動車の運転操作を誤り駐車場から転落し立木に衝突した。	救助の必要はなかったため、救急隊の活動支援を行った。
	広報車	4	御在所岳裏道登山道を登山中に両足が痙攣し歩けない。	奈良県防災航空隊と協力し、ヘリによるピックアップ後、三滝川河川敷へ搬送した。

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
28	交 通	11 月 15 日 (金) 22 時 45 分	朝 上 (田 光)	加 入 電 話	
29	そ の 他 (山 岳)	11 月 16 日 (土) 7 時 48 分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
30	そ の 他 (山 岳)	11 月 16 日 (土) 15 時 43 分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
31	そ の 他 (山 岳)	11 月 17 日 (日) 12 時 03 分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119 番 (携 帯 電 話 等 含 む)

加 入 電 話 = 一 般 加 入 電 話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	救助工作車 救急2号車	4 3	自動車が道路から約3m下の畑に転落、横転し、自力で脱出できない。	先着していた警察官により事故車内から救出されており、警察官と協力し、道路上まで救出した。
	広報車	4	釈迦ヶ岳庵座谷登山道を登山中に約5m滑落し腰部の打撲により歩けない。	担架を使用し、ヘリコプターによるピックアップが可能な場所まで徒手搬送後、三重県防災航空隊により県立総合医療センターへ搬送した。
	救助工作車 救急1号車	5 3	河川内で作業中に堰堤を登ろうとしたところ、足を滑らせ転落し、右足の負傷により歩けない。	担架を使用し、救急隊と協力して徒手搬送で救急車まで救出した。
	広報車	4	羽鳥峰方面へ登山中に足を滑らせ転倒し、頭部の負傷により歩けなくなった。	介添え搬送で、ヘリコプターによるピックアップが可能な場所まで搬送後、三重県防災航空隊により県立総合医療センターへ搬送した。

事故種別、救助出動件数・救助人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	令 元 合 計	和 年 計	平 成 30 合 計	成 年 計
	建 物	他												
出 動 件 数			8		2					21	31	34		
救 助 人 員			4		3					17	24	31		

※管轄外の出動件数含む

事故種別、救助出動人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	令 元 合 計	和 年 計	平 成 30 合 計	成 年 計
	建 物	他												
救 助 隊 員			32		8					88	128	125		
消 防 隊 員			15								15	11		
救 急 隊 員			27		9					33	69	82		
合 計			74		17					121	212	218		

事故種別、救助出動車両

種別 車両	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	令 元 合 計	和 年 計	平 成 30 合 計	成 年 計
	建 物	他												
救 助 工 作 車			8		2					6	16	17		
タ ン ク 車														
ポ ン プ 車			5								5	5		
救 急 車			9		3					11	23	27		
指 揮 車													1	
広 報 車										15	15	17		
資 機 材 搬 送 車										1	1			
そ の 他 の 車 両														
合 計			22		5					33	60	67		

※その他の車両とは、査察車と防災広報車

気象、通信、その他



昨今の異常気象による豪雨等の被害を軽減するため、菰野町では毎年水防訓練を実施しています。町内各区から区民や事業所の方々、自警団、消防団が参加し、合同で積み土のう工法その他、身近な物を利用する簡易な工法の訓練も行い自助、共助の連携による地域防災力の向上に努めました。

菰野町水防訓練

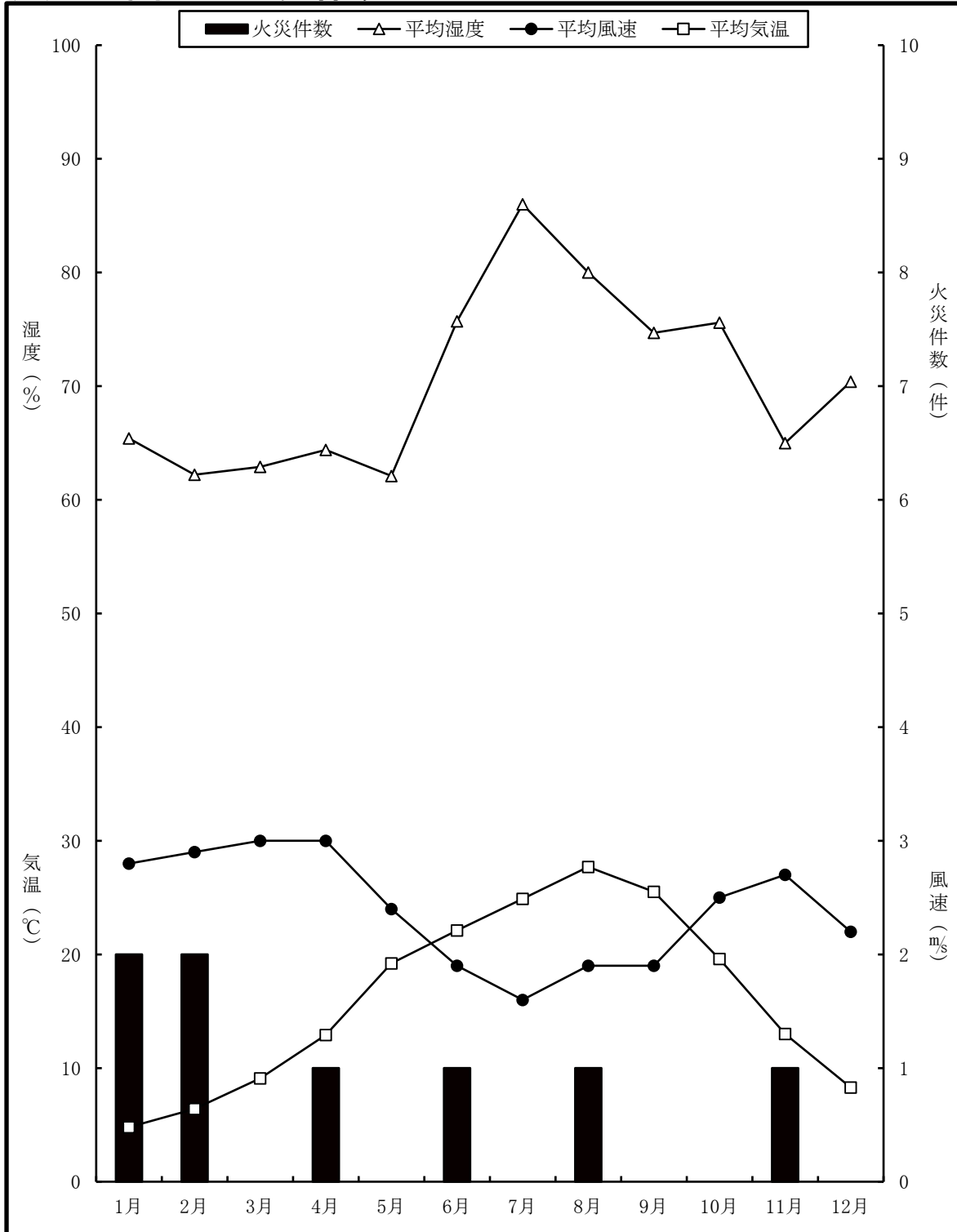
令和元年 5 月 26 日

於：菰野町役場庁舎南 三滝川河川敷

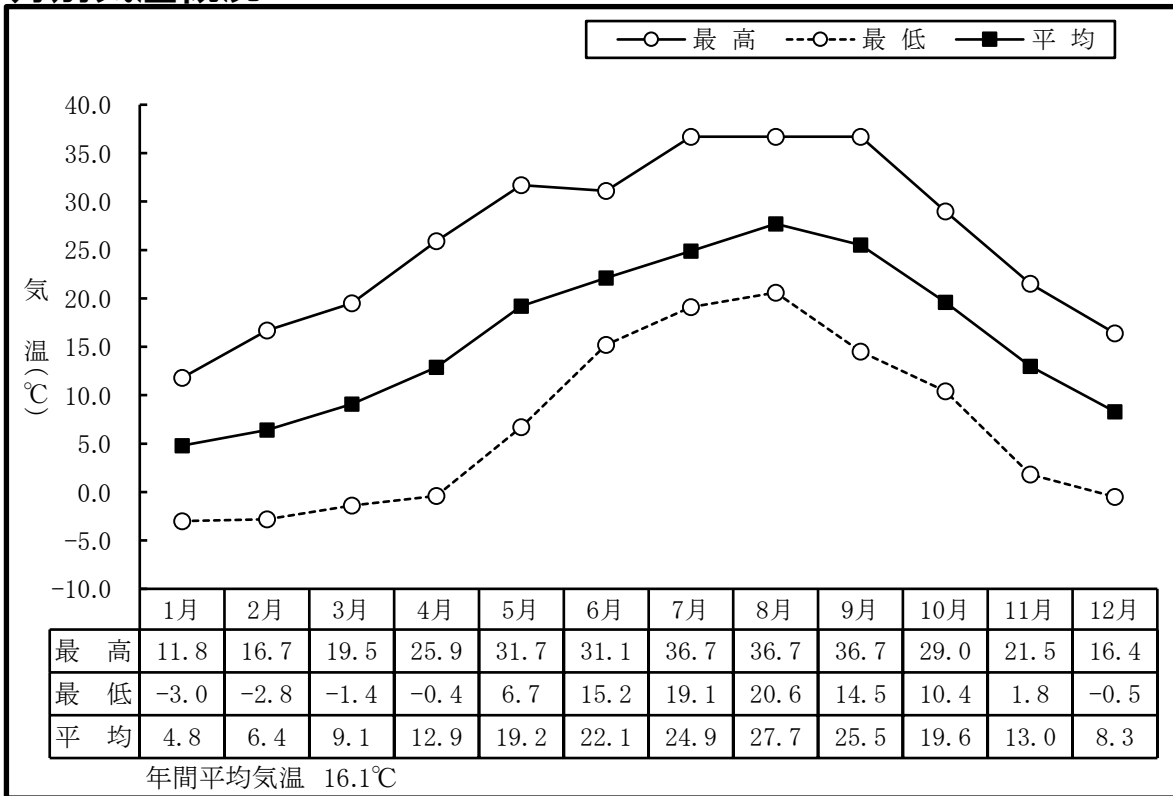
気象

気象観測システムによる1時間毎の自動定時観測（風速・気温・湿度・降水量等）を行い日報・月報記録の作成を続けています。また台風、豪雨や警報発表時には定時以外においても必要に応じた観測体制をとっています。

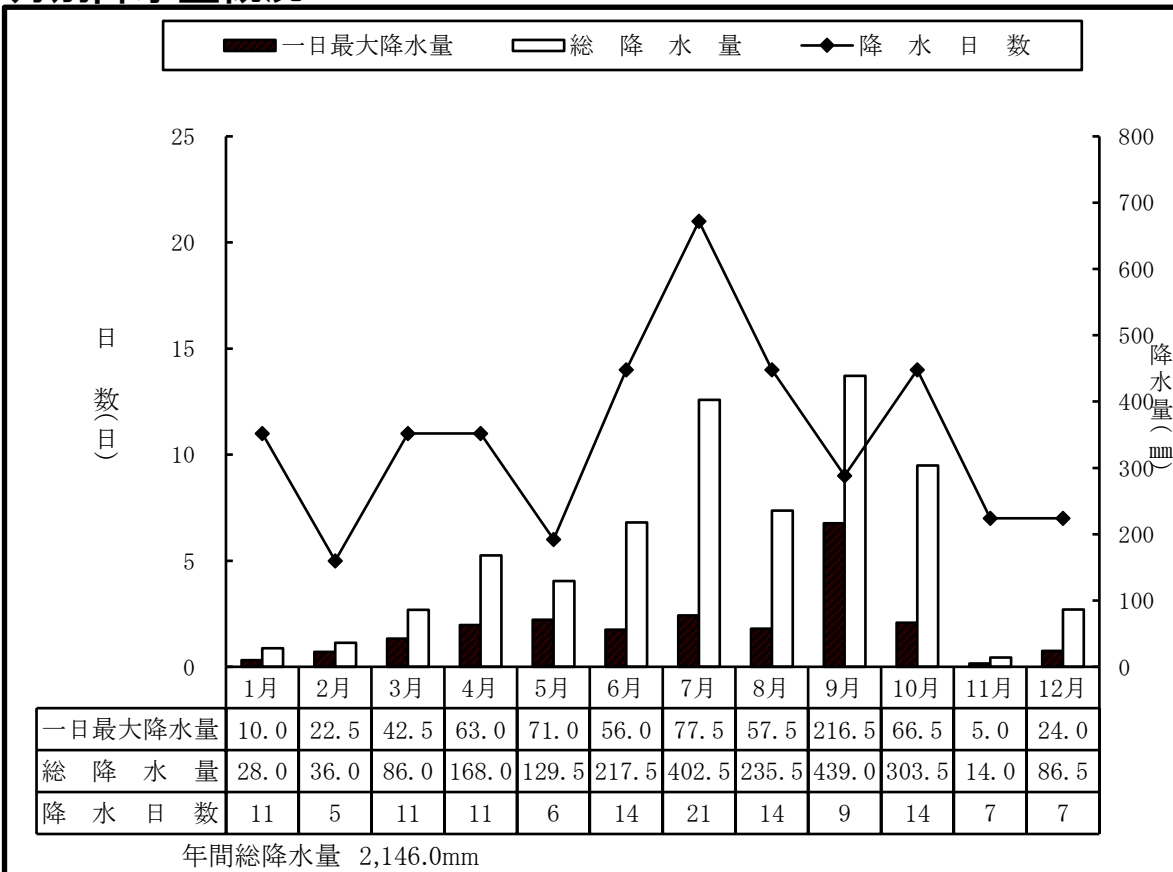
月別気象状況と火災件数



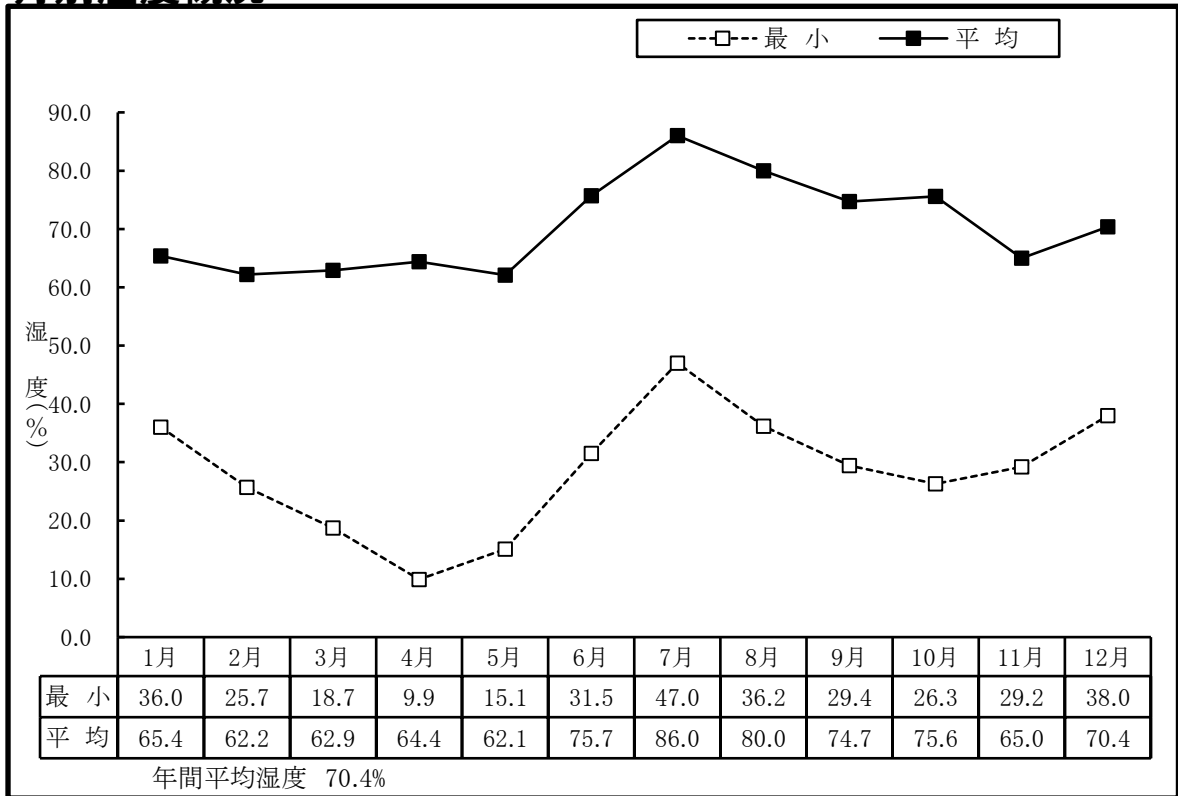
月別気温概況



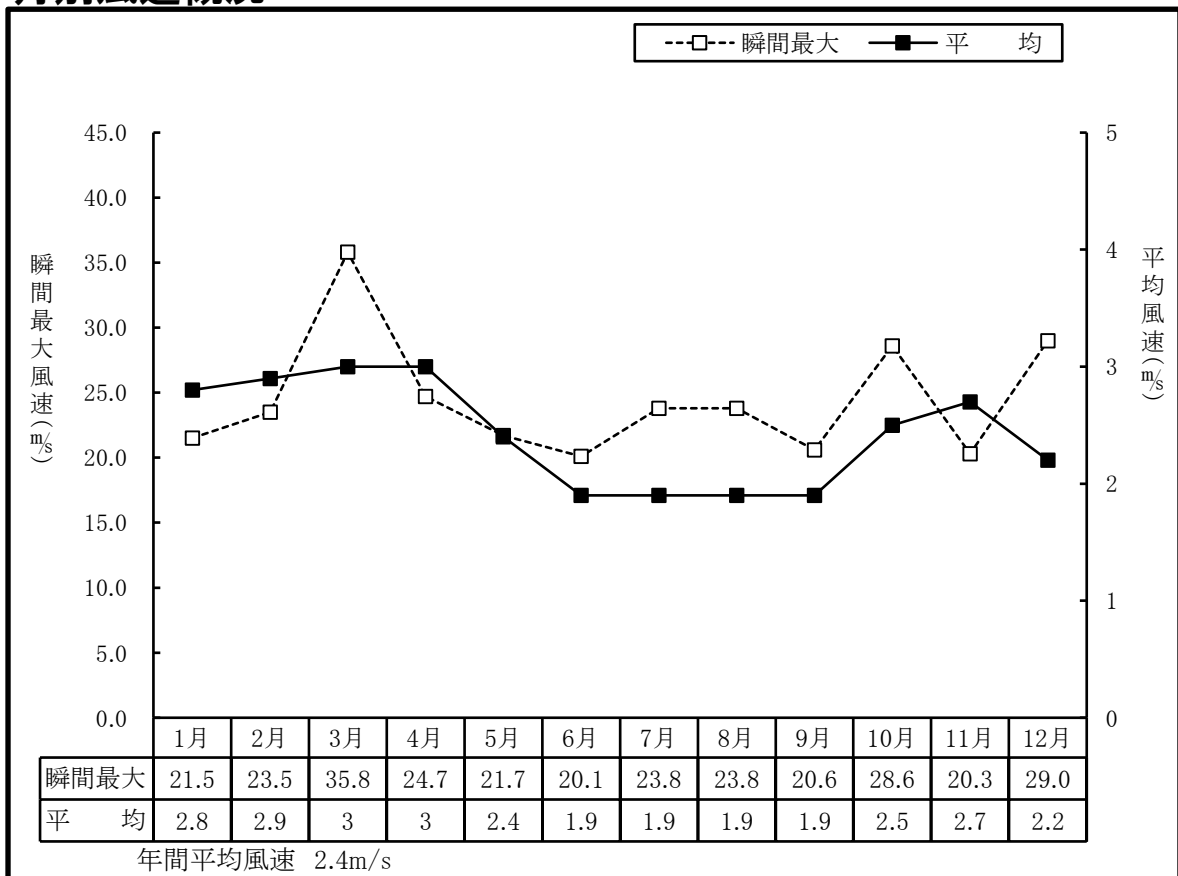
月別降水量概況



月別湿度概況



月別風速概況



気象通報受信状況

気象通報		月 別												合計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
特別警報	暴風特別警報														
	暴風雪特別警報														
	大雨特別警報														
	大雪特別警報														
警報	暴風警報										1				1
	暴風雪警報														
	大雨警報					1		1	1	1					4
	大雪警報														
	洪水警報										2				2
注意報	風雪注意報														
	強風注意報		1	3	4		1	2	1	1	5	1	2		21
	大雨注意報					2	3	9	4	4	5				27
	大雪注意報	1													1
	洪水注意報					1		1	1	3					6
	着雪注意報	1													1
	乾燥注意報			1	6	4	4								15
	濃霧注意報		2	2	1		2	3			2	1	3		16
	霜注意報			16	7	1									24
	なだれ注意報														
	融雪注意報														
	低温注意報														
	着氷注意報														
	雷注意報	2	1	6	8	5	10	12	12	9	6	3	3		77
	竜巻注意情報					1	1	2							4
高温注意情報						2	3	17	6					28	
火災気象通報			3	10	13	10						1	2		39
三重県気象情報	大雪に関する情報	6													6
	雷と突風及び降ひょうに関する情報			3		1	3	1		1					9
	雷と突風に関する情報				1		2		7		1	2	4		17
	高波と大雨に関する情報					4									4
	高温に関する情報					1									1
	大雨と雷及び突風に関する情報						8	9	3	6	6				32
	大雨と高波及び恐怖に関する情報						3								3
	大雨と高波及び突風に関する情報						2								2
	大雨に関する情報						1	9		7					17
	発達する熱帯低気圧に関する情報							2							2
	台風第6号に関する情報							5							5
	台風第10号に関する情報								14						14
	台風第15号に関する情報									4					4
大雨と高波及び雷に関する情報									5	14				19	
台風第19号に関する情報										11				11	
雪に関する情報													3	3	
記録的短時間大雨情報										1					1
土砂災害警戒情報										2					2

注1) 同一種類の警報・注意報を継続する場合に発表された警報・注意報は回数に含めない。

注2) 竜巻注意情報は、三重県北中部を対象に発表された一連の情報を1回と数えた回数を示す。

注3) 火災気象通報は、三重県北部を対象に発表された回数を示す。

注4) 土砂災害警戒情報は、菟野町に発表された一連の情報を1回と数えた回数を示す。

通信指令

菰野町と四日市市、桑名市の3消防本部は、平成28年4月1日から 四日市市、桑名市及び三重郡菰野町消防通信指令事務協議会を設置して、四日市市消防本部中消防署中央分署内に三重北消防指令センターを整備し、消防通信指令事務の共同運用を行っています。

三重北消防指令センター119番通報受付取扱状況

令和元年中

種別 消防本部	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
菰野町	16	1,545	25	38	1	213	297	195	9	2,339
四日市市	227	15,028	90	221	70	1,929 (1)	1,712	1,809	173	21,259 (1)
桑名市	161	9,212	56	158	16	1,234 (1)	997	1,030	77	12,941 (1)
合計	404	25,785	171	417	87	3,376 (2)	3,006	3,034	259	36,539 (2)

※【 】はFAX119、「」はEメール119、()はNet119 それぞれ内数。

通報は重複通報含む。

菰野町消防本部管内月別119番通報受付取扱状況

令和元年中

種別 月	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
1	4	154		2		23	6	25		214
2	2	119	1			14	60	10	1	207
3		117	1	2		19	28	12		179
4	1	120	1	6		20	8	15		171
5		121	4	2		7	12	20	1	167
6	1	108	3	3		16	13	16		160
7		144	2	4		21	13	26	1	211
8	3	142	1	5		23	50	14	1	239
9	1	138	3	4		23	55	21	2	247
10		109	1	6	1	14	19	6		156
11	2	128	7	1		18	24	16	3	199
12	2	145	1	3		15	9	14		189
合計	16	1,545	25	38	1	213	297	195	9	2,339

※【 】はFAX119、「」はEメール119、()はNet119 それぞれ内数。

通報は重複通報含む。

菰野町消防本部管内回線別119番通報受付取扱状況

令和元年中

種別 回線	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
119	固定	2	359	1	8	43	190	38	3	644
	I P	3	421		3	26	53	32		538
	携帯	11	765	24	27	1	144	125	6	1,157
	FAX									
Eメール119										
Net 119										
合計	16	1,545	25	38	1	213	297	195	9	2,339

通報は重複通報含む。

災害件数の推移

年	区分	火災 (件)	救急 (件)	救助 (件)	人口 (人)
昭和 60 年		11	308	3	31,099
昭和 61 年		23	442	3	31,546
昭和 62 年		15	434	7	31,949
昭和 63 年		15	497	9	32,218
平成 元年		13	569	12	32,443
平成 2 年		9	595	6	32,942
平成 3 年		17	573	6	33,504
平成 4 年		13	558	8	33,902
平成 5 年		6	641	10	34,362
平成 6 年		15	684	10	35,137
平成 7 年		23	694	17	36,036
平成 8 年		30	779	11	36,801
平成 9 年		36	684	12	37,402
平成 10 年		18	705	19	37,785
平成 11 年		21	746	16	38,229
平成 12 年		18	895	23	38,713
平成 13 年		25	995	19	38,939
平成 14 年		21	1,018	9	39,074
平成 15 年		23	1,096	28	39,155
平成 16 年		12	1,091	29	39,494
平成 17 年		23	1,195	33	39,989
平成 18 年		20	1,187	21	40,274
平成 19 年		21	1,248	21	40,550
平成 20 年		19	1,266	23	40,784
平成 21 年		16	1,208	25	40,977
平成 22 年		15	1,242	32	41,025
平成 23 年		9	1,360	22	41,171
平成 24 年		17	1,396	24	41,311
平成 25 年		22	1,473	17	41,329
平成 26 年		19	1,451	19	41,419
平成 27 年		12	1,433	32	41,540
平成 28 年		14	1,452	36	41,803
平成 29 年		20	1,480	39	41,820
平成 30 年		13	1,607	34	41,738
令和 元年		8	1,598	31	41,610

※昭和60年の災害件数は消防本部発足（4月1日）からの数値

※人口は年度末の数値

令和2年版
消 防 年 報

発 行 日 令和2年8月

編集・発行 菰野町消防本部

〒510-1253

三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地

電 話 (059) 394-3211

F A X (059) 394-5766

E-mail komonofd@m3.cty-net.ne.jp